

木  
戸  
病  
院  
医  
誌

# 木戸病院医誌

2025 VOL. 24

2  
0  
2  
5  
  
V  
O  
L  
・  
24

新潟医療生活協同組合



HEALTH CO-OP NIIGATA SINCE 1975

## 木戸病院の理念

協同互助の精神に基づき、組合員、地域住民の  
医療・保健・衛生・福祉の向上を図る

## 基本方針

- 1) 生涯にわたる健康管理活動の支援
- 2) 生活習慣病の予防と早期発見
- 3) 「いのちの章典」の豊かな実践
- 4) 診療情報の開示
- 5) 全人的医療を指向

# 目 次

## I. 巻頭言

病院長 佐 藤 秀 一 .....	1
-------------------	---

## II. 病院概要

1. 基本情報 .....	2
2. 施設基準 .....	2
3. 沿革 .....	7
4. 院内のご案内 .....	9

III. 2024年度臨床指標・診療実績 .....	14
----------------------------	----

## IV. 2024年度活動報告・研究業績

### 1. 診療部

一般内科 .....	18
循環器内科 .....	19
呼吸器内科 .....	21
糖尿病内科・内分泌内科 .....	22
腎臓・膠原病内科 .....	26
消化器内科 .....	27
神経内科 .....	28
小児科 .....	30
婦人科 .....	32
外科 .....	33
整形外科 .....	35
泌尿器科 .....	36
皮膚科 .....	37
耳鼻咽喉科 .....	40
緩和ケア科 .....	41
眼科 .....	42
放射線科 .....	43
脳神経外科 .....	44
歯科・口腔外科 .....	45

石山診療所 .....	47
木戸クリニック .....	48
2. 看護部 .....	49
3. 医療安全管理室 .....	51
4. 薬剤部 .....	56
5. 診療技術部	
検査科 .....	60
病理検査科 .....	63
放射線科 .....	64
リハビリテーション科 .....	68
栄養科 .....	69
臨床工学科 .....	71
6. 事務部 .....	72
7. 地域包括部 .....	74
8. 健診センター .....	77
9. 研究部 .....	79
10. 卒後臨床研修管理委員会.....	82

## V. その他活動状況等

1. 院内講演会 .....	84
2. 院内研修会 .....	84
3. CPC .....	85
4. 看護部研修会 .....	85

## VI. 退院患者疾病統計表



## Ⅰ． 巻 頭 言

病 院 長 佐 藤 秀 一

現在の地域医療は、非常に厳しい状況が続いています。昨年の診療報酬改定では、診療上の様々な算定基準が厳しくなりました。入院医療に対する看護必要度などの評価の変更、人員配置基準の改定は、病院経営の根幹に関わる部分での経営悪化を招いています。昨今の急速な物価や賃金の上昇に対しても診療報酬は固定したままで、物価に連動して改定される制度はありません。また、コロナ感染拡大による病院受診者数の減少は未だに回復せず、外来、入院ともコロナ前の水準には到達していません。慢性的な医師看護師不足の状況は更に悪化する一方で、更に働き方改革への対応、夜勤体制の整備など労働環境改善に関する費用は増加しています。2024年診療報酬改訂後、医療利益の赤字病院率は70%近くまで増加し、経常利益の赤字病院割合は60%以上と報告されています。福祉医療機構の債務返還に関するデータでは、半数以上の病院が破綻懸念先と判断されています。現在の状況では、持続的に医療を提供する事が不可能な医療施設が多く、地域医療は崩壊寸前と言われています。今後は「地域の病院が突然なくなる」という事態が起こりうる状況であると考えられます。

本戸病院は、本年初めに新たなコンサルタント会社と契約しました。コンサルタントの担当者からは、経営のみならず病院内各部署の詳しい運用に対して、様々なアドバイスを受けています。院内全体を少人数で効率よい運用を行う為、日々改革を行っています。本年2月には慢性的なスタッフ不足に対応する為に病棟の再編成を行い、地域包括ケア病棟の1病棟（54床）を休止しました。運用変更後は急性期3病棟（約150床）、地域包括ケア病棟1病棟（約50床）、回復期リハビリテーション病棟1病棟（約50床）となりました。届出病床は以前と変わらず312床のままでありますが、実稼働病床は260床前後です。病棟縮小にあたっては、入院患者数を病棟縮小以前の水準に維持する必要があり、病床稼働率を上げるためにベッドコントローラー（看護副部長、地域連携室長）を設定しました。ベッドコントローラーを通じて全病棟の空床を把握して入院指示を行う事により、病床稼働率92%前後を維持することが出来ました。また、病棟縮小後は、夜勤回数の減少、病棟稼働率の改善が見られ、病棟縮小の効果はある程度はありました。しかし、地域包括ケア病棟が以前の半数になった事で急性期病棟からの地域包括ケア病棟への転棟が滞り、急性期病棟の看護必要度が低下した為、急遽5月1日に急性期病棟（約50床）を地域包括ケア病棟に変更しました。今後も、各部署の状況確認をしながら、運用の変更を行っていく必要があります。

現在の地域医療は、限られた医療資源のなかで、地域の救急体制を維持しながら、更に増加する高齢者に対して医療から介護への途切れないサービスを提供する事が求められています。現場での的確な状況判断と、迅速な対応が常に必要とされています。今後も、新潟東区の地域医療の中核を担う病院として努力してまいります。よろしくお願い申し上げます。

## II. 病院概要 (2025年5月1日現在)

### 1. 基本情報

病 院 名	新潟医療生活協同組合 木戸病院
開 設 者 名	鈴木 克夫 (新潟医療生活協同組合 理事長)
病 院 長 名	佐藤 秀一
副 院 長 名	山口 利夫/摺木 陽久
開設年月日	昭和51年5月6日
病 床 数	一般病棟：3病棟153床 (1病棟50床休止中) 一般病床 (急性期) 地域包括ケア病棟：2病棟109床 回復期リハビリテーション病棟：1病棟50床
所 在 地	〒950-0862 新潟県新潟市東区竹尾4丁目13番3号 TEL：025-273-2151 (代表) FAX：025-273-8360
診 療 科 目	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、内分泌内科、腎臓内科、神経内科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、ペインクリニック外科、アレルギー科、小児科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、緩和ケア科、放射線科、歯科、小児歯科、歯科口腔外科、麻酔科
看 護 基 準	急性期一般入院料2 回復期リハビリテーション病棟入院料1 地域包括ケア病棟入院料2

### 2. 施設基準

《医学管理》	心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算 糖尿病合併症管理料 がん性疼痛緩和指導管理料 糖尿病透析予防指導管理料 (腎不全期患者指導加算) 婦人科特定疾患治療管理料 一般不妊治療管理料 二次性骨折予防継続管理料1、2、3 院内トリアージ実施料 外来腫瘍化学療法診療料1 がん治療連携指導料
--------	--

	外来排尿自立指導料
	肝炎インターフェロン治療計画料
	薬剤管理指導料
	医療機器安全管理料1
	慢性腎臓病透析予防指導管理料
《投薬・注射》	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
	外来化学療法加算1
	無菌製剤処理料
《手術 等》	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
	大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
	腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方）
	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
	内視鏡的小腸ポリープ切除術
	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）
	輸血管理料（Ⅱ）
	輸血適正使用加算
	人工肛門・人工膀胱造設前処置加算
	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
《麻 酔》	麻酔管理料（Ⅰ）
《処 置》	硬膜外自家血注入
	人工腎臓
	導入期加算1
	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
	ストーマ合併症加算
《検 査》	持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
	持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動しない持続測定器を用いる場合）
	遺伝学的検査
	HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
	検体検査管理加算（Ⅱ）
	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
	ヘッドアップティルト試験
	神経学的検査
	コンタクトレンズ検査料1
	内服・点滴誘発試験

《画 像》 CT撮影及びMRI撮影

《リハビリテーション》

心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）  
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）  
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）  
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）  
がん患者リハビリテーション料

《入 院 料》

急性期一般入院料2  
救急医療管理加算  
診療録管理体制加算2  
医師事務作業補助体制加算1  
急性期看護補助体制加算（25対1）  
療養環境加算  
重症者等療養環境特別加算  
医療安全対策加算1  
感染対策向上加算1  
患者サポート体制充実加算  
後発医薬品使用体制加算1  
バイオ後続品使用体制加算  
病棟薬剤業務実施加算1  
データ提出加算2  
入退院支援加算1  
認知症ケア加算3  
せん妄ハイリスク患者ケア加算  
排尿自立支援加算  
地域医療体制確保加算  
小児入院医療管理料5  
回復期リハビリテーション病棟入院料1  
地域包括ケア病棟入院料2  
看護職員処遇改善評価料48  
入院時食事療養／生活療養（Ⅰ）  
入院ベースアップ評価料  
外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）

《歯 科》

地域歯科診療支援病院歯科初診料  
歯科外来診療医療安全対策加算2  
歯科外来診療感染対策加算3



歯科診療特別対応連携加算

歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）

歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料

歯科疾患在宅療養管理料の注4に掲げる在宅総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料

歯科口腔リハビリテーション料2

有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2

歯周組織再生誘導手術

CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー

クラウン・ブリッジ維持管理料

歯科技工連携加算1

《そ の 他》 酸素購入価格（酸素単価）

学会指定施設 日本内科学会認定医制度教育関連病院

日本消化器内視鏡学会指導施設

日本循環器学会認定循環器専門医研修施設

日本呼吸器学会認定施設

日本糖尿病学会認定教育施設

日本腎臓学会研修施設

日本外科学会外科専門医制度修練施設

日本整形外科学会認定医制度研修施設

日本肝臓学会関連施設

日本消化器病学会認定施設

日本皮膚科学会認定専門医研修施設

日本臨床栄養代謝学会NST稼働施設

マンモグラフィ検診施設

日本透析医学会専門医制度 新潟大学医歯学総合病院の教育関連施設

人間ドック健診専門医研修施設

日本臨床細胞学会認定施設

日本栄養療法推進協議会NST稼働施設

指定医療機関 臨床研修病院

歯科臨床研修病院

救急指定医療機関

健康保険法指定医療機関

国民健康保険指定医療機関

生活保護法指定医療機関

母体保護法指定医療機関

結核予防法指定医療機関

原爆医療法指定医療機関  
身体障害者福祉法指定医療機関  
日本病院会、短期人間ドック指定  
厚生医療指定医療機関  
育成医療指定医療機関  
在宅酸素療法指定管理施設  
労働者災害保障保険医療機関  
新潟県肝疾患診療協力病院

## 新潟医療生活協同組合事業所

木戸病院 ・ 健診センター

石山診療所 ・ 小規模多機能型居宅介護 赤いふうせん

なじょも ・ 木戸クリニック

・ 訪問介護センター なじょも

・ 訪問看護ステーション なじょも

・ デイサービスセンター なじょも

・ ショートステイ なじょも

・ 通所型基準緩和サービス 百の花なじょも

・ 通所リハビリテーション なじょも

・ 木戸病院 居宅介護支援事業所

・ サービス付き高齢者向け住宅CO-OPなじょもガーデン

・ 学童クラブ なじょも

・ ヘルスローカス with

・ 在宅介護支援センター あしぬま荘

(社会福祉法人 亀田郷芦沼会運営)

・ 新潟市地域包括支援センター木戸・大形

(社会福祉法人 亀田郷芦沼会運営)

介護老人保健施設 ほほえみの里きど  
病児保育室「きどっこ」  
院内保育所「いちご畑」

関連事業所	亀田郷芦沼会 ・特別養護老人ホーム あしぬま荘 ・特別養護老人施設 風の笛 ・デイサービスセンター あしぬま ・ショートステイ あしぬま ・在宅介護支援センター あしぬま荘 ・知的障害者通所授産施設 ほがらか福祉園 ・小規模多機能型居宅介護 ふもとの奏
-------	---

協 力 施 設	特別養護老人施設 あしぬま荘
	特別養護老人施設 風の笛
	介護老人保健施設 有楽園
	介護医療院 アビラ大形
	逢谷内デイ・サービスセンター
	グループホーム グループホーム大形
	グループホーム おおやちの家
	介護老人福祉施設 あわやまの里
	介護老人保健施設 松浜さくら園
	地域密着型福祉施設 徳蓮荘

### 3. 沿革

昭和50年2月	新潟医療生活協同組合設立許可
昭和51年5月	木戸病院開院（病床数：88床） 診療科：内科、神経内科、循環器科、小児科、皮膚科、歯科
昭和53年4月	RI室開設、病床数：85床に変更
昭和54年5月	二期工事竣工（病床数：171床）
昭和54年6月	新館での外来診療開始 診療科：内科、神経内科、循環器科、消化器科、呼吸器科、外科、肛門科、 小児科、皮膚科、理学診療科、放射線科
昭和59年8月	300床総合病院化計画に着手
昭和60年11月	木戸病院分館新築工事竣工
昭和60年12月	病床数を178床に変更
昭和61年4月	三期工事竣工（病床数：312床） 整形外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、眼科診療を開始 19診療科となる
平成3年	透析ベッド増設、リハビリ施設充実、高橋眼科跡地を事務管理棟に改築
平成5年5月	心臓カテーテル室完成
平成5年12月	四期工事竣工（健診センター）
平成8年3月	石山診療所歯科を病院と統合
平成9年7月	MRI導入
平成13年10月	日本医療評価機構より認定（一般B認定取得）
平成16年4月	厚生労働省より臨床研修病院指定 （新潟大学医歯学総合病院、富山医科薬科大学）、透析室増床（25床→29床）
平成16年5月	当日外来電話予約システムを開始
平成22年1月	電子カルテ稼動 新病院工事着工
平成23年7月	東区竹尾にて新病院開院 診療標榜科（一般内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病内科、内分泌内科、腎

	臓内科、消化器内科、神経内科、心療内科、精神科、小児科、産婦人科、外科、消化器外科、整形外科、皮膚科、アレルギー科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、眼科、歯科、小児歯科、歯科口腔外科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科)
平成24年4月	病院敷地内に病児保育室「きどっこ」開設
平成24年9月	日本医療機能評価機構の病院機能評価Ver.6を受審
平成24年12月	日本医療機能評価機構の病院機能評価Ver.6に認定
平成25年4月	旧病院敷地に複合施設「なじょも」開設
平成25年4月	木戸病院 院長に阿部 要一が就任
平成26年9月	基幹型臨床研修病院指定
平成27年4月	木戸病院 院長に津田 隆志が就任
平成27年9月	64列CT導入
平成28年4月	病院敷地内に院内保育所「いちご畑」開設
平成29年9月	日本医療機能評価機構の病院機能評価3rdG：Ver.1.1を受審
平成30年3月	日本医療機能評価機構の病院機能評価3rdG：Ver.1.1に認定
平成31年4月	木戸病院 院長に佐藤 秀一が就任
令和6年3月	日本医療機能評価機構の病院機能評価3rdG:Ver.3.0を受審
令和7年4月	日本医療機能評価機構の病院機能評価3rdG:Ver.3.0を認定

## 4. 院内のご案内

木戸病院 〒950-0862 新潟県新潟市東区竹尾4丁目13-3  
 TEL.025-273-2151 (代) FAX.025-273-8360  
 木戸病院ホームページ <http://kido.iryoo-coop.com>

### 診療受付・診療時間・面会時間・休診日

診療受付/外来の受付は下記の予約センターをご利用ください。

フリーダイヤル 0120-432-472

携帯電話・公衆電話からは 025-273-2175

診療時間/午前9:00～午後5:00

第2・第4土曜日 午前9:00～午後12:30

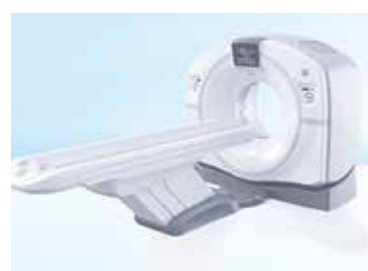
休 診 日/日曜、祝祭日、第1・3・5土曜日

午後休診/毎週木曜日、第2・第4土曜日

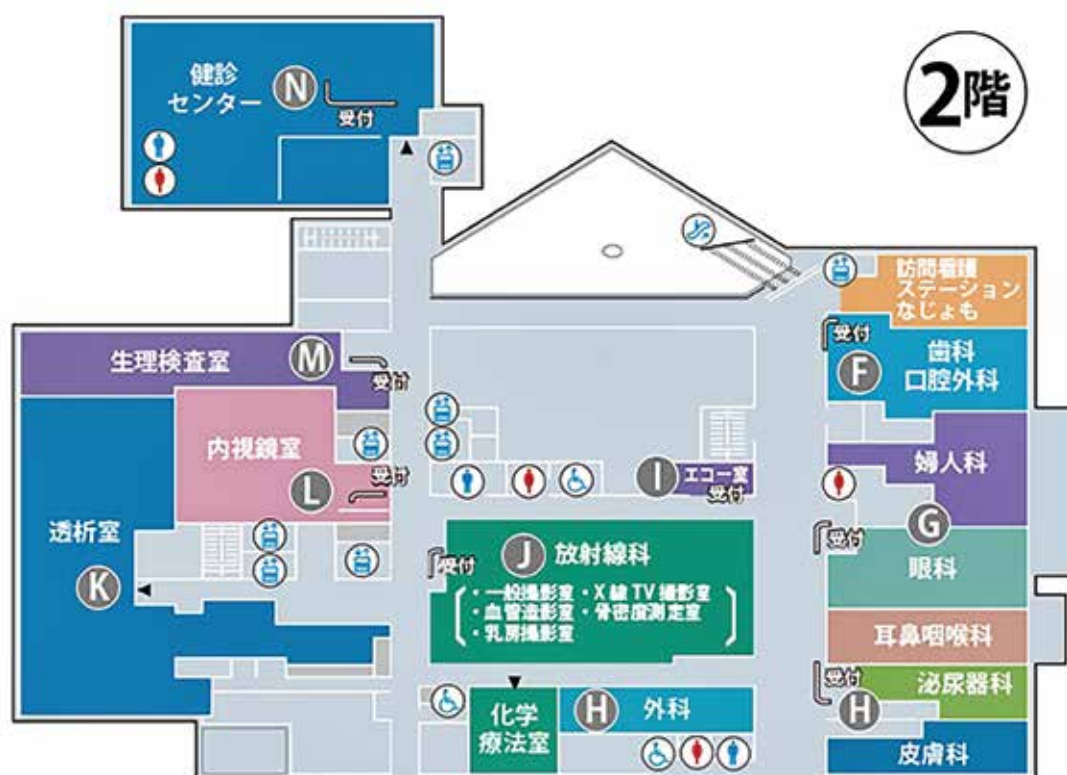
面会時間/月曜日～日曜日まで毎日 午後1:00～午後4:00 (1回15分程度)

各階構成			
9F	急性期一般病棟	53床	
8F	急性期一般病棟(休止中)	50床	
7F	急性期一般病棟	50床	
6F	地域包括ケア病棟	54床	
5F	地域包括ケア病棟	55床	
4F	回復期リハビリテーション病棟	50床	アネックス棟
3F	手術	手術室・中央材料室・病理検査室・薬剤部・ART(不妊治療) SPD(院内物品管理)センター・ME(医療機器保守管理)センター 医局・管理部門・病歴図書室・会議室	会議室
2F	外来	歯科・歯科口腔外科・婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・泌尿器科・皮膚科・外科 透視室・内視鏡室・化学療法室 放射線科(一般撮影室・X線TV室・血管造影室・骨密度検査室マンモ検査室) 検査室・訪問看護ステーションなじも	健診センター
1F	外来	総合受付・検査予約受付・内科・整形外科・小児科・神経内科 救急センター・中央処置室(採血・注射) 放射線(一般・CT・MRI・RI検査室) 相談室・生協加入コーナー・医事課・地域連携室 売店・医療材料販売	美容室 (ハートランド) 調剤薬局 レストラン

## 1 階のご案内



## 2階のご案内



透析室：2階



血管造影室：2階



内視鏡室：2階



待合室：2階



## 3～9階のご案内

5F～8F病棟/平面図（下図は5F）



9F病棟/平面図



手術室：3階



リハビリテーション：4階



4人部屋



個室



浴室（共用）



多目的トイレ



分散型トイレ



特別室



## 交通のご案内

### 《お車でお越しの方》

- ・新潟駅より車で15分。

### 《公共交通機関でお越しの方》

- ・バス

- ・新潟交通

はなみずき線 E70：木戸病院—はなみずき—本馬越—新潟駅南口

竹尾線 E60：木戸病院—竹尾—新潟駅前—万代シティ

- ・区バス

石山方面先回り 松崎ルート

山の下方面先回り 松崎ルート

### Ⅲ. 2024年度臨床指標・診療業績

#### 【手術室】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	30	32	27	24	31	26	25	26	26	22	23	31	323
整形外科	12	16	14	17	8	11	15	10	12	14	18	16	163
婦人科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	34	37	38	45	27	26	55	37	30	41	32	30	432
皮膚科	2	1	0	0	0	2	4	3	1	1	1	1	16
内科	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	3
透視	2	1	2	0	1	2	2	1	3	3	2	3	22
歯科口腔外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	80	88	81	86	67	68	103	78	72	82	76	81	962

#### 【内視鏡室】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
上部消化管内視鏡検査	403	369	365	389	308	308	358	300	337	309	278	331	4,055
下部消化管内視鏡検査	148	142	136	140	113	98	118	119	131	114	87	120	1,466
E M R	上部	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
	下部	14	21	10	27	14	13	5	13	6	18	10	169
E S D	上部	4	2	4	2	2	1	4	4	4	1	2	30
	下部	1	0	3	4	0	0	3	1	1	1	1	16
内視鏡の止血術	上部	3	0	2	3	1	2	0	0	4	2	3	24
	下部	1	1	2	0	0	0	0	3	2	0	2	11
消化管ステント	食道	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	十二指腸	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	大腸	0	0	1	0	3	1	0	0	1	2	1	9
E I S	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E V L	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	4
異物除去	0	0	2	0	0	0	1	0	1	2	1	1	8
P E G	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
経肛門的イレウス管挿入	1	1	0	0	0	0	1	2	2	3	0	1	11
E R C P	0	1	1	3	0	1	1	0	2	0	1	1	11
E S T	0	2	1	0	0	0	3	1	0	0	1	0	8
E P B D	0	1	1	4	0	3	5	1	2	0	1	2	20
E R B D	3	4	1	8	5	4	4	5	2	1	4	7	48
E N B D	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3
経乳頭ステント留置	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3
P T C D	1	0	3	0	0	0	3	1	0	0	0	1	9
P T G B D	3	1	1	3	2	3	1	3	3	3	3	2	28
P T A D	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
経皮経肝ステント留置	1	1	0	1	3	0	1	3	0	1	0	1	12
気管支内視鏡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	585	546	536	585	452	436	511	456	501	459	395	491	5,953

【血管造影室】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心臓カテーテル検査	7	10	8	6	6	5	7	6	3	5	9	6	78
緊 急PCI	0	2	0	0	1	0	1	1	0	0	1	1	7
待 機 的PCI	1	3	2	4	0	2	0	1	2	2	3	5	25
ペースメーカー電池交換	6	1	3	1	0	3	3	2	2	2	2	1	26
そ の 他	1	0	1	2	2	0	0	2	2	0	1	0	11

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
腹部アンギオ	1	0	1	0	1	1	0	0	3	2	2	2	13

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
シヤント造影	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
シヤントPTA	3	4	5	4	7	1	4	4	2	3	2	2	41

【放射線科】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
C T	637	649	598	699	654	652	613	572	651	602	572	680	7,579
R I	30	34	31	33	26	29	24	22	34	22	21	34	340
M R I	193	173	192	256	228	190	212	195	200	191	175	210	2,415
骨 密 度	103	60	73	90	93	101	90	92	100	87	70	114	1,073
合 計	963	916	894	1,078	1,001	972	939	881	985	902	838	1,038	11,407

【検査室】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検 体 検 査	7,206	7,361	6,978	7,530	7,145	6,882	7,198	6,481	7,262	6,664	6,380	6,885	83,972
生 理 検 査	630	649	741	695	651	581	515	548	695	595	563	650	7,513
細 菌 検 査	1,838	1,970	1,692	1,817	1,895	1,872	1,543	1,715	2,350	2,119	1,631	1,922	22,364
合 計	9,674	9,980	9,411	10,042	9,691	9,335	9,256	8,744	10,307	9,378	8,574	9,457	113,849

【栄養科】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来栄養指導	121	131	136	152	133	125	137	114	150	124	129	134	1,586
入院栄養指導	58	65	60	60	45	53	58	54	72	62	74	84	745
合 計	179	196	196	212	178	178	195	168	222	186	203	218	2,331

【病理検査科】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
剖 検	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
組 織 診	126	151	122	146	128	128	134	121	129	110	107	133	1,535
細 胞 診	313	392	347	434	379	380	393	344	315	218	225	285	4,025
合 計	439	543	469	580	507	508	527	465	444	328	332	419	5,561

【リハビリ科】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問リハビリ (回数)	572	572	577	660	522	479	576	586	583	516	545	594	6,782

【服薬指導状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	50	57	50	55	48	40	47	30	51	25	51	125	629
小 児 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外 科	64	54	51	45	61	59	45	48	64	37	51	47	626
皮 膚 科	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4
歯 科	6	3	2	4	3	2	3	2	1	0	2	0	28
整形外科	25	27	28	34	16	28	31	24	29	39	44	37	362
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼 科	24	27	28	34	19	19	35	27	23	28	20	18	302
神経内科	0	1	2	12	10	5	7	6	5	10	5	19	82
合 計	169	170	162	185	158	153	168	137	173	139	173	246	2,033

【健診センター】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日帰りドック	107	149	249	271	226	257	293	253	242	169	202	228	2,646

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
特 定 健 診	195	216	203	220	146	193	267	239	199	149	141	254	2,422

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
特定保健指導	3	4	5	8	18	12	23	25	27	26	31	30	212

【褥瘡推定発生率】調査日に褥瘡を保有する患者÷入院時にすでに褥瘡保有が記載されていた患者÷調査日の入院患者数×100（％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1度以上	5.3%	4.7%	3.4%	3.7%	3.3%	2.4%	4.7%	1.8%	3.8%	3.2%	2.8%	1.6%
2度以上	4.0%	4.3%	2.6%	3.3%	2.5%	2.4%	3.5%	1.8%	3.8%	3.2%	2.4%	1.2%

【病院褥瘡有病率】調査日に褥瘡を保有する患者÷調査日の入院患者数×100（％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1度以上	9.3%	9.5%	5.6%	5.6%	4.1%	4.1%	7.1%	4.1%	9.0%	7.9%	5.7%	6.0%
2度以上	7.5%	9.0%	4.8%	5.6%	3.7%	4.1%	5.1%	3.2%	9.0%	7.4%	5.3%	5.2%

【臨床病理検討委員会】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
臨床病理検討会	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

2024年度外来患者数

初診患者数

外 来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件 数	798	840	825	932	976	796	882	879	969	875	807	928	10,507
診療日数	23	23	22	24	23	21	24	21	23	21	20	22	267

延患者数

外 来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	6,177	6,306	5,661	6,132	6,075	5,654	6,099	5,577	6,310	5,778	5,109	5,661	70,539
小 児 科	500	514	556	662	532	481	550	767	804	646	650	799	7,461
外 科	652	687	578	661	604	576	644	574	600	575	535	652	7,338
皮 膚 科	773	771	732	739	868	773	834	737	777	643	560	699	8,906
歯 科	1,047	1,188	1,055	1,231	1,072	1,068	1,160	1,116	1,147	1,042	1,029	1,113	13,268
婦 人 科	349	374	350	405	385	375	393	355	400	303	274	323	4,286
整形外科	744	730	703	706	721	683	699	660	690	643	584	686	8,249
耳鼻咽喉科	212	215	220	239	229	212	205	187	184	187	201	193	2,484
泌尿器科	426	448	476	490	448	441	468	414	548	403	402	523	5,487
眼 科	712	648	633	704	606	593	767	639	624	631	589	573	7,719
神経内科	345	355	353	425	361	377	399	364	353	328	298	373	4,331
脳神経外科	8	13	9	19	6	12	8	15	10	19	14	16	149
合 計	11,945	12,249	11,326	12,413	11,907	11,245	12,226	11,405	12,447	11,198	10,245	11,611	140,217
診療日数	23	23	22	24	23	21	24	21	23	21	20	22	267

2024年度入院患者数

新入院患者数

入 院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件 数	337	333	355	383	372	327	298	306	349	320	301	356	4,037
診療日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365

延患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	4,638	4,791	4,613	4,947	4,954	5,224	4,602	3,991	4,416	5,098	4,361	4,898	56,533
小 児 科	46	53	90	67	60	83	90	96	126	60	30	62	863
外 科	799	757	688	578	691	743	754	579	636	566	566	656	8,013
皮 膚 科	0	2	14	17	7	0	0	0	0	1	9	0	50
歯 科	32	3	2	5	4	2	4	2	1	0	2	3	60
婦 人 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形外科	783	686	747	848	660	705	797	836	970	1,057	1,046	1,065	10,200
耳鼻咽喉科	11	9	12	16	8	9	9	7	16	10	20	2	129
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼 科	72	84	73	97	71	44	89	84	80	82	68	62	906
神経内科	747	858	750	916	963	957	1,010	903	918	971	923	1,008	10,924
合 計	7,128	7,243	6,989	7,491	7,418	7,767	7,355	6,498	7,163	7,845	7,025	7,756	87,678
診療日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365

## IV. 2024年度活動報告・研究業績

### 1. 診療部

#### 【一般内科】

#### 1. 活動報告

#### 2. 研究・業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

## 【循環器内科】

### 1. 活動報告

#### 診療体制

常勤医師（日本循環器学会認定循環器専門医）3人

#### 外来診療

1週間のうち循環器専門外来（予約）8枠、循環器・内科新患外来3枠（土曜は除く）を担当。その他1回/月のペースメーカークリニック、5回/週のRI・運動負荷試験を担当する。心臓カテーテル検査枠は週2枠。循環器専門外来のうち4枠、運動負荷試験のうち2枠、心カテの1枠は新潟大学から応援をいただいている。

#### 入院診療

年間入院患者数523人（前年472人）（うち急性心不全155人（前年118人） 急性心筋梗塞14人（前年17人））平均在院日数26.3日（前年26.5日）。2024年度の心臓カテーテル検査室の稼働状況は以下の通り。カテーテル検査・治療とも全体に昨年より減少し、ペースメーカー植込み件数については例年並み。

心カテ室稼働状況

検査件数	2023年度	2024年度	治療件数	2023年度	2024年度
冠動脈造影(PCIは除く)	75	69	緊急PCI	9	7
左室造影	50	45	待機的PCI	31	21
大動脈造影	8	5	ステント留置術	37	24
冠血流予備量比測定	21	9	バルーン拡張術	1	4
心筋生検	3	1	末梢血管EVT	0	1
植込み型心電計植込み		5	下大静脈フィルター挿入	1	3
			IABP挿入	0	0
			ペースメーカー植込	新規18交換14	新規18交換11

### 2. 研究・業績

#### 論文・著書

##### 英文

1. Mochida S, Hirashima M, Yamaguchi T, Saito M. Induction of severe initial dip in estimated glomerular filtration rate by sodium-glucose cotransporter 2 inhibitors and baseline hemodynamics. Jpn J Pharm Health Care Sci 50: 440-450, 2024.

##### 和文

1. 持田知志, 平島麻由美, 増井有香, 大窪愛香, 山口利夫, 齊藤幹央. ヨード造影剤によるアナフィラキシーショック既往患者に対し薬剤師の提案に基づく前投薬の実施によりCAG/PCIの施行が可能となった1例. 医薬品安全性学 10: 123-130, 2024.

## 学会発表

### 一般演題

1. 持田知志, 平島麻由美, 増井有香, 大窪愛香, 山口利夫, 齊藤幹央. ヨード造影剤によるアナフィラキシーショック既往患者に対し薬剤師の提案に基づく前投薬の実施によりCAG/PCIの施行が可能となった1例. 第10回日本医薬品安全性学会学術大会 (2024/7/20-21, 新潟)
2. 持田知志, 平島麻由美, 山口利夫, 齊藤幹央. 心不全患者におけるエンパグリフロジンおよびダパグリフロジンによるeGFR Dip誘発に関連する影響因子の検討. 第18回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会2024 (2024/9/7-8, 優秀演題候補, 北海道)
3. 平島麻由美, 持田知志, 増井有香, 山口利夫, 齊藤幹央. ピルシカイニド中毒を誘発した高齢腎機能低下患者の背景的特徴に対する後方視的調査. 第18回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会2024 (2024/9/7-8, 北海道)
4. 持田知志, 平島麻由美, 山口利夫, 齊藤幹央. 心不全患者におけるエンパグリフロジンによるinitial dip誘発に関連するリスク因子の検討. 第89回日本循環器学会学術集会 (2025/3/28-30, 神奈川)

### その他

#### 研究会座長

##### ◇五十嵐登

- ・ GLP-1 Web Seminar (2025/1/29, Microsoft Teamsを用いたりモート開催)

#### 院内学習会・検討会

- ・ 心臓リハビリカンファレンス：2回／月

#### 院内活動

##### ◇山口利夫

- ・ 副院長
- ・ 循環器内科部長
- ・ 基幹型臨床研修病院管理委員会プログラム責任者
- ・ 検査運営委員会委員長 ほか

##### ◇五十嵐登

- ・ 内科医長
- ・ DPC運用委員会



## 【呼吸器内科】

### 1. 活動報告

常勤医師2人の診療体制。

2024年度の入院患者総数は293人で、内訳は新型コロナウイルス感染症34人、呼吸器感染症105人、COPD16人、気管支喘息12人、間質性肺疾患30人、肺癌20人、気胸7人、その他69人（重複なし）。

### 2. 研究・業績

論文・著書

学会発表

1. 木島浩子, 武田 惇, 若山正隆, 成田淳一. 職員へ向けた薬剤耐性菌に対する抗菌薬適正使用の取り組みについて. 日本病院薬剤師会関東ブロック 第54回学術大会 (2024/8/10-11, 埼玉)

講演

その他

研究会幹事会

◇成田淳一

- ・新潟COPDリンク世話人会 (2024/6/4)
- ・新潟チェストカンファレンス拡大幹事会 (2024/7/6)
- ・新潟吸入療法研究会幹事会 (2025/3/8)

院内活動

◇成田淳一

- ・院内感染防止対策委員会
- ・感染制御チーム
- ・抗菌薬支援チーム
- ・医薬品委員会
- ・化学療法委員会
- ・5階病棟会議

◇河辺昌哲

- ・医局長
- ・DPC運用委員会
- ・医療従事者負担軽減委員会
- ・輸血療法委員会
- ・薬剤ワーキンググループ
- ・5階病棟会議

## 【糖尿病内科・内分泌内科】

### 1. 活動報告

#### 医師体制

津田晶子 S52年卒 日本内科学会認定内科医 日本糖尿病学会専門医  
日本糖尿病学会専門医・研修指導医  
日本内分泌学会内分泌代謝科専門医  
日本医師会認定健康スポーツ医  
日本糖尿病学会功労評議員

荻原智子 H9年卒 日本内科学会認定内科医

濱ひとみ H11年卒 日本内科学会総合内科専門医 日本糖尿病学会専門医  
日本透析学会透析専門医 日本腎臓病学会腎臓専門医

阿部孝洋 H19年卒 日本内科学会総合内科専門医 日本糖尿病学会専門医  
日本糖尿病学会研修指導医  
日本内分泌学会内分泌代謝科専門医  
(新制度) 内分泌代謝・糖尿病内科領域指導医

滝澤大輝 H29年卒 日本内科学会総合内科専門医  
(新制度) 内分泌代謝・糖尿病内科領域指導医

#### 糖尿病センター 2024年度の総括

1. 中野恵輔先生が転勤され、中村博至先生が着任されましたが、安樂匠先生が育休をとられることから大学に転籍となり、医師体制が減員となりました。

各先生が外来増加などで、多忙となり、業務量増大や外来での待ち時間増加を生じました。

WITHコロナ時代のなか、感染防止対策を徹底しながら、質の高い医療と糖尿病治療・療養指導を実践するための創意工夫をめざしました。病棟再編の中、チーム医療に力を入れ医師・看護師のほか栄養士・理学療法士・ケースワーカーが加わり7階▶6階病棟カンファランスを継続しました。

糖尿病センタースタッフ会議を隔月で開催し、毎回実施した学習会では担当者だけでなく、外来・病棟ナースや外来クラーク・栄養科・医事課・薬剤部・リハ科スタッフなど多数の参加が得られました。会議では「糖尿病療養指導時の看護師チェックリスト作成」の紹介や「効率的で院内統一した糖尿病療養指導をめざして要点記録のアイパッド利用」の提案がされました。

2. 日本糖尿病学会の認定教育施設として専門医育成に携わり、学生実習も受け入れました。

医師5人体制を生かし、外来診療、入院診療、チーム医療、他科との連携、病診連携に努めました。複数主治医制は機能不十分、実効上がりませんでした。

3. ・入院糖尿病教室を月6回継続し定着しました。5階の広い学習室が使用可能になり、参加人数制限が無くなり、プロジェクターも使用可能になりました。

- ・入院運動療法教室がこれまでのwith健康指導士による月2回から、さらに月2回理学療法士による実践指導が加わり合わせて月4回に拡充されました。
  - ・外来糖尿病教室月1回も広くて換気の良い神経内科外来をお借りして継続できました。
  - ・入院中の一人2回の入院栄養指導・入院服薬指導・外来栄養相談・看護外来・フットケア外来を継続しました。
  - ・院外薬局との連携では、webセミナーを企画しました。
4. ヘルスローカスwithでは1プログラムあたりの参加人数を10名から15名に増やし、プログラム時間も拡大して要望に応えました。
  5. 糖友会の活動では「さかえ」配布時の医師やスタッフのメッセージ同封を継続しました。郵送料の値上がりから「さかえ」配布は外来受診時の手渡しに変更しました。
  6. 東新潟糖尿病懇話会は開催できず、糖尿病トータルケアセミナーを開催しました。
  7. お花見健康ウォークin鳥屋野潟は4月8日に再開されお天気にも恵まれ62名参加されました。
  8. LCDE/CDEJ本年度の講習会参加者はありませんでした。
  9. 健康チャレンジが8-11月実施されました。

#### 糖尿病センター 2025年度の方針

1. 中村博至先生が転勤され、滝澤大輝先生が着任されました。  
各先生が外来増加などで、多忙となっています。学生実習生増加、研修医増加・病棟再編などもあり、診療に研修医育成に学生実習に、協力してゆきます。
2. WITHコロナ時代のなか、感染防止対策を徹底しながら、質の高い医療と糖尿病治療・療養指導を実践するための創意工夫を継続してゆきます。「講義中心の教室」「友の会お手紙作戦」「病棟カンファ」などを実施してきましたが、チーム医療を生かす方法として入院教室へのリハ科からの月2回の運動療法指導が定着しました。
  - ・病棟再編により、病棟カンファは5階が中心となり、入院状況により7階にもまわります。
  - ・さかえに折込みしていたスタッフからの「手紙」を「友の会ニュース」として外来患者さんにも隔月で配布を開始しました。季節のレシピやIPS細胞newsなど好評です。
  - ・薬剤部参加・フットケアなどについても検討中です。
  - ・間欠性24時間血糖測定装置改良が進み外来でも多数の患者さんが利用し療養に役立っています。検査部協力による導入指導・データ取り組みが大きな力になっています。
3. 4/6お花見ウォーク開催されました。
4. withを利用した友の会ストレッチ教室なども計画中です。
5. 糖尿病療養指導士講習会については今年度から大学が中心となって持続可能な仕組みに代わり、近く広報される予定です。

## 2. 研究・業績

### 論文・著書

#### 国内学会発表

1. 広川美香, 阿部優佳, 中村博至, 阿部孝洋, 荻原智子, 津田晶子. 低血糖が頻発する1型糖尿病の自己管理促進を支援してスマートフォンアプリを利用したCGMデータの家族間共有. 第115回新潟内分泌代謝同好会 (2024/6/29, 新潟)

#### 講演

1. 津田晶子.「ストップ動脈硬化」血糖値ダウンセミナー 人生100年時代をいかに生きるか (2024/10/22, 新潟)

#### その他

##### 院外活動

- ◇阿部孝洋, 津田晶子, (看護師) 金澤, 丸山, 榎本, 阿部, 友の会2名  
新潟糖尿病の集い参加 (2024/11/9, 新潟)

##### ◇津田晶子

- ・糖尿病習慣行事 ミニ新聞記事 糖尿病カフェ

#### 学会活動

##### ◇津田晶子

- ・日本糖尿病学会 (功労評議委員)
- ・日本先進糖尿病治療研究会 (世話人)
- ・新潟内分泌代謝同好会幹事→今年度より阿部孝洋先生に交代予定
- ・新潟糖尿病談話会幹事
- ・新潟県・新潟市糖尿病対策委員

#### 学会座長

- ◇濱ひとみ 研究会座長 3件
- ◇阿部孝洋 研究会座長 3件
- ◇津田晶子 研究会座長 3件

#### 学生実習

- ・新潟大学から2名 4週間

#### 院内活動

- ・糖尿病センタースタッフ会議 隔月に学習会と会議を開催

◇阿部孝洋

- ・医療従事者負担軽減委員会
- ・地域包括会議
- ・保険請求検討会

◇濱ひとみ

- ・6階病棟 副責任医
- ・医療従事者負担軽減委員会
- ・感染管理部門会議
- ・木戸病院利用委員会
- ・卒後臨床研修管理委員会、卒後臨床研修事務局会議

◇津田晶子

- ・糖尿病センター長
- ・ヘルスローカスwith所長
- ・健康づくり委員会
- ・栄養管理会議
- ・卒後臨床研修管理委員会

## 【腎臓・膠原病内科】

### 1. 活動報告

#### 診療体制

常勤医師2人（2024年12月～2025年3月は3人）、嘱託医1人で外来・入院診療を行いました。

- ・経皮的針腎生検を6件施行しました。
- ・血液透析の新規導入は13名でした。
- ・透析用バスキュラーアクセス手術を行いました。：内シャント造設/再建術 11件、血栓除去術 2件、上腕動脈表在化手術 1件、長期留置型カテーテル関連 8件、シャントPTA（経皮血管形成術）41件
- ・持続血液濾過透析（1名）、腹水濾過濃縮再静注法（1名）を他科と協力し行いました。

### 2. 研究・業績

#### 論文・著書

#### 学会発表

#### 講演

#### その他

#### 院内活動

#### ◇濱ひとみ

- ・臨床研修医基幹型病院事務局会議
- ・木戸病院利用委員会
- ・感染管理部門会議
- ・糖尿病センタースタッフ会議
- ・医療従事者負担軽減委員会

## 【消化器内科】

### 1. 活動報告

#### 診療体制

佐藤秀一（院長）、摺木陽久、横山恒の3人体制で診療を行いました。他に毎週、新潟大学医歯学総合病院消化器内科や近隣のクリニックより内視鏡検査に応援を頂いておりました。

・当科で受け持った入院患者数（実人数）：885名

・検査件数

腹部エコー検査：771件

内視鏡検査：

上部消化管内視鏡検査：4055件

下部消化管内視鏡検査：1466件

内視鏡的粘膜切除術（EMR）：胃2件、大腸169件

内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）：食道1件、胃29件、大腸16件

内視鏡的静脈瘤結紮術（EVL）：4件

内視鏡的胃瘻造設術（PEG）：1件

内視鏡的逆行性膵胆管造影検査（ERCP）（検査のみ）：11件

（治療：EST 8件、EPBD 20件、ERBD 48件、ENBD 3件）

経皮経肝ドレナージ術：PTCD 9件、PTGBD 28件、PTAD 2件

経皮経肝胆管ステント留置術：10件

腹部血管造影検査（治療＋検査）：13件

### 2. 研究・業績

#### 論文・著書

#### 学会発表

#### 講演

#### その他

#### ◇横山 恒

・新潟市在宅医療・介護連携センター 第9回ぽーちゅらかネット研修会

「終末期医療を考える ～病院の立場から～」(2024/9/13, 新潟)

・新潟医療生活協同組合 木戸総支部健康セミナー

「胃がん・大腸がん検診のすすめ ～胃がん・大腸がんを早期発見・治療するために～」(2024/11/30, 新潟)

## 【神経内科】

### 1. 活動報告

#### 診療体制

常勤医3名体制（北原真紀子、岩淵洋平、高橋俊昭）で入院および外来診療を行いました。

新潟大学脳研究所神経内科 小野寺理教授に毎週火曜日の外来診療をご担当いただきました。

新潟大学脳研究所神経内科 青山あずさ医師に毎週金曜日の頭痛外来および神経生理学検査をご担当いただきました。

#### 入院診療

脳血管疾患（脳梗塞、脳出血）の急性期治療、リハビリテーション、リスクファクター管理、退院支援と包括的な治療を実施しました。

神経変性疾患（パーキンソン病、多系統萎縮症、筋萎縮性側索硬化症等）や免疫性末梢神経障害の診断、治療について、東区の中核を担っております。また認知症疾患の合併症に対する入院診療が増加傾向でした。

病院間連携（転院元）としては、新潟市民病院脳卒中科と新潟大学医歯学総合病院脳神経内科からの転院が主体ですが、新潟医療センター、済生会新潟病院、新潟脳外科病院からの転院数が増加しました。

#### 外来診療

地域医療機関との連携により、変性疾患（パーキンソン病等）や認知症の診断・治療に関するご紹介を多くいただきました。

### 2. 研究・業績

#### 論文・著書

#### 学会発表

#### 講演

#### その他

#### 社会活動

#### ◇高橋俊昭

- ・新潟市医師会 認知症相談医

#### 院内活動

#### ◇高橋俊昭

- ・接遇改善推進委員会
- ・リスクマネージャー会議
- ・死亡症例検証委員会
- ・CPC委員会



- ・臨床研修医基幹型病院事務局会議
- ・回復期リハ・地ケア病棟経営検討委員会→木戸病院拡大経営推進会議に移行
- ・4階病棟責任者

◇岩淵洋平

- ・身体拘束最小化委員会

## 【小児科】

### 1. 活動報告

診療体制：常勤医師2名、時短医師1名で診療を行いました。

外来診療：平日の月～金曜日は2診体制で一般診療を行いました。

火曜日は13時30分から乳児健診を行い、金曜日（13時30分～）と月・火曜日（15時～）に予防接種を行いました。第2、4土曜日は一般診療と生活習慣病外来を行いました。また、木曜午後の休診枠を利用して、インフルエンザワクチンの接種を行いました。

入院診療：令和6年度の入院患者総数は175名、平均在院日数は4.9日でした。喘息、肺炎、胃腸炎、けいれん疾患、川崎病の入院が主な内訳でした。新型コロナウイルス感染症の入院も受け入れました。

重症児・外科疾患児は大学病院、市民病院に転院搬送しています。

救急診療：新潟市の二次輪番事業に協力し、日曜・祝日を含む年間45日の輪番を担当しました。平日は午後5時から翌朝9時まで、日曜・祝日は朝9時から翌朝9時まで市内（時々市外からも）の二次救急に対応しました。

開業医・急患センターからの入院依頼、救急車の受け入れが主な業務でした。

関連施設：院内保育所に併設されている病児保育施設「きどっこ」で病児管理を行いました。看護師、保育士と連携しながら朝8時から夕方6時までの保育提供に従事しました。

昨年度の受け入れ児の延べ人数は855名（月平均71.3名）でした。

### 2. 研究・業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

院外活動

◇樋浦 誠

- ・新潟市二次輪番会議
- ・新潟市病児・病後児保育事業担当者会議
- ・新潟市江南区乳幼児健康診査事業 年間8回出務
- ・上木戸こども園健康診査 年間2回出務

◇唐橋裕輔

- ・ 出前スクール 大形小学校（2025/2/6）

院内活動

◇樋浦誠

- ・ 卒後臨床研修運営委員会
- ・ 病院機能検討委員会

◇唐橋裕輔

- ・ 外来勉強会
- ・ 7階病棟勉強会

## 【婦人科】

### 1. 活動報告

#### 診療体制

- ・月～金 外来診療1診 市検診・人間ドックと並行
- ・毎木曜日 新潟大学産科婦人科学教室 吉原弘祐教授ほか数名の医師が担当
- ・入院診療は無し

#### 婦人科外来診療

- ・妊娠診断：以後の管理について速やかに適切な医療機関に受診できるよう妊婦を支援、紹介
- ・女性ヘルスケア：あらゆる年代に対応  
月経不順・月経困難症・性感染症・卵巣腫瘍・子宮内膜症・子宮筋腫・更年期障害・骨盤臓器脱等、手術適応症例は高次医療機関へ紹介  
術後フォロー症例（定期検査・薬物療法等）の逆紹介・新規紹介
- ・婦人科検診2次検査（当院健診センターおよび近隣開業医・健診施設で行った方）  
悪性腫瘍は新潟大学医歯学総合病院・県立がんセンター新潟病院へ紹介
- ・子宮頸がん検診（市検診・人間ドック）
- ・HPVワクチン：接種専用受診枠は設けず通常の婦人科外来診療内で施行

[公費接種人数] 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度

小6～高1相当 1 5 14 30

キャッチアップ 4 16 29 110

※キャッチアップ接種の人数が増加、日本医師会や製薬会社のTVCM、接種期間延長（2026/3/31まで）の効果がみられたようです。

#### 生殖医療

一般不妊治療のみ対応

- ・タイミング法 5周期
- ・人工授精 133周期（AIH なし AID 133周期）

※AIDは2025/1より新規患者の受け入れを中止しました。

### 2. 研究・業績

#### 論文・著書

#### 学会発表

#### 講演

#### その他

## 【外科】

### 1. 活動報告

#### 診療体制

外科は5名体制で消化器外科及び一般外科診療を行っている。2024年10月より、長らく新発田病院外科で勤務されていた畠山 悟先生が着任され、特に腹腔鏡手術などに力を入れられる体制となった。

また、月4回（火～水）の定期的な医師派遣を富山大学より得ている。

2025年4月より、これまで隔週月曜であった富山大学からの手術助手の助勤が毎週となった。

#### 常勤医

福田 卓真：診療副部長、日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医

渡邊 智子：外科部長、日本外科学会専門医

畠山 悟：外科部長、日本外科専門医・指導医

日本消化器外科専門医・指導医

日本内視鏡外科学会 技術認定医

日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医

山田 明：外科医師（嘱託医）、日本外科学会専門医、

日本消化器外科学会指導医・専門医、消化器がん治療認定医、

日本消化器内視鏡学会指導医・専門医、麻酔標榜医

阿部 要一：外科医師（嘱託医）、日本外科学会専門医、

日本消化器外科学会指導医・専門医、

日本乳がん検診精度管理中央機構・マンモグラフィー読影認定医、

乳がん検診超音波検査実施・判定医

#### 診療内容

外来は2診体制とし、また化学療法室において診療（外来化学療法）を行っている。昨年度の外来患者の延患者数は7,338（一昨年度7,358）名、入院患者数は延べ8,013（同7,160）名だった。

手術においては、コロナ禍以後、全科の全身麻酔による手術を週3日（月～水）に限定して行ってきた。5類移行後も基本的にこの体制は変わらないが、麻酔科非常勤医の協力が得られれば、木曜にも全身麻酔の手術を組んでいる。また、手術開始を午前からにするなどして手術枠の確保に努めている。

昨年度の外科手術数の総数は321件（一昨年度288件）、全身麻酔手術は208件、緊急手術は21件であった。

主な手術の内訳は、胃癌を中心とした胃十二指腸疾患22件、大腸癌を中心とした大腸疾患65件、胆石症を中心とした胆嚢・胆管手術36件、肝切除術2件、膵癌に対する審査腹腔鏡1件、腸閉塞等の小腸疾患17件、虫垂炎9件、鼠経ヘルニアを中心としたヘルニア手術82件、肛門疾患9件、乳癌を中心とした乳腺疾患24件だった。

## 2. 研究・業績

### 論文・著書

#### 英文症例報告

1. Sato M, Kawai K, Yamada A. Postoperative pyoderma gangrenosum in a patient undergoing long-term nibolumab therapy. J Cutan Immuno Allergy 7: 13751, 2024.

#### 国内学会発表

1. 佐藤美紀, 河井一浩, 山田 明. ニボルマブ長期投与中の患者に生じたpostoperative pyoderma gangrenosum. 日本皮膚科学会新潟地方会第416回例会 (2024/12/14, 新潟)

#### 講演

1. 渡邊智子. 木戸病院における乳癌診療と化学療法/薬物療法. 薬薬連携企画 (2024/4/25)

#### 院内学習会

##### ◇渡邊智子

- ・外科病棟看護師のための麻酔の話 (2024/6/28)

#### 各自WEB開催の学会参加

- ・第124回日本外科学会定期学術集会
- ・第79回日本消化器外科学会総会 等

##### ◇福田卓真

- ・第79回日本消化器外科学会総会 (2024/7/17-19, 下関)

##### ◇阿部要一

- ・第32回日本乳癌学術総会 (2024/7/11-13, 仙台)
- ・第34回日本乳癌検診学会総会 (2024/11/29-30, 高崎)

## 【整形外科】

### 1. 活動報告

#### 診療体制

常勤医2名（所澤徹、高橋直樹）

外来診療 月曜～金曜午前 月・金…2診 火・水・木…1診

手術：下肢骨折57件、上肢骨折12件、人工関節置換術49件、人工骨頭挿入術（股）19件、膝関節鏡手術6件など計163件

### 2. 研究・業績

#### 論文・著書

#### 国内学会発表

1. 所澤 徹. 線維筋痛症を量子学的考察で考える. 日本線維筋痛症・慢性痛学会第14回学術集会 (2024/11/3-4, 東京)

#### 講演

1. 高橋直樹. ひざのおはなし. 新潟医療生協健康祭り 健康講演会 (2024/10/27)

#### その他

## 【泌尿器科】

### 1. 活動報告

#### 2024年度の医療活動

- ① 2015/4/1から従来の新潟大学医師による週2回の外来診療から、週5日の診療とし、第1, 3, 5木曜日は大学の出張医師、月・火・水・第2, 4木・金曜日は北村が外来診療を担当しています。
- ② 内視鏡検査、超音波・CT・MRIなどの画像検査等により、あらゆる泌尿器科疾患に対して診断可能です。
- ③ 排尿ケアチームの一員として、毎週水曜日に排尿ケアチームのカンファレンスを行っています。
- ④ 全職員を対象とした、院内講演会を2025年3月5日に開催しました。
  1. 排尿自立支援加算の算定（医事課 齋藤真子）
  2. 下部尿路障害に対するリハビリテーション（OT 星井真悠）
  3. 尿道留置カテーテルの挿入について（看護部 中川明日香、真島 楓）
- ⑤ 排尿自立指導管理料を109例に算定しました。
- ⑥ 緊急手術は  
DJカテーテル留置を3例、  
嵌頓包茎手術を1例  
(前立腺生検は2020年10月にて終了としました)

### 2. 研究・業績

#### 論文・著書

#### 学会発表

#### 講演

#### その他



## 【皮膚科】

### 1. 活動報告

#### 診療体制

常勤医師2人（皮膚科専門医1人, 専攻医1人）の体制で診療しました。2024年4月から2025年3月まで新潟大学から派遣された専攻医の佐藤美紀医師が勤務しました。また、2024年9月に1カ月間、2年目の臨床研修医の守屋 航医師が皮膚科研修を行いました。

#### 外来診療

平日および第2・第4土曜の午前に2診体制で診療しています。2024年度の外来患者数は延べ8906人（1日平均33.4人）でした（他科入院中の患者を除く）。エビデンスに基づいた診療を心がけており、コモンディーズについてはガイドラインに沿った診療を行っています。他の診療所・病院からの紹介患者は積極的に受け入れましたが、当院での対応が困難な患者は新潟大学病院や新潟市民病院に紹介しました。正確な診断のために、皮膚生検を積極的に施行しており、2024年度の病理検査数は45検体でした。原則として病理診断は院外の皮膚病理専門医と当院皮膚科医によるダブルチェックを行っています。

#### 入院診療

2024年度の入院患者数は5人で、平均在院日数は10.2日でした。疾患は蜂窩織炎、熱傷、巨大膿瘍でした。他科入院中の患者に対してはコンサルテーションによる診察を行なっています。なお、褥瘡回診は、月2回、佐藤信輔医師（非常勤）が行っています。

#### 手術

2024年度の皮膚生検を含む手術件数は45件でした（創傷処理および皮膚切開術を除く）。皮膚生検・創傷処理・皮膚切開術以外の予定手術は手術室で行う方針としており、手術室での手術件数は16件でした。診療体制上、原則として局麻手術に限定されるため、単純縫縮が可能な皮膚・皮下腫瘍の日帰り手術が中心であり、全麻手術・他科との共同手術・植皮や複雑な皮弁による再建が必要な場合、広範囲切除やセンチネルリンパ節生検・リンパ節郭清が必要な悪性腫瘍は新潟県立がんセンター新潟病院、新潟市民病院形成外科および新潟大学に依頼しました。

#### 関連施設

介護老人保健施設ほほえみの里きど（週1回）の往診診療を行っています。

### 2. 研究・業績

#### 論文・著書

#### 英文原著

#### 英文症例報告

1. Sato M, Kawai K, Hoshina Y, Terao K, Ibusuki A. Oral lichen planus with low-titer autoantibodies to BP180 and desmoglein 3. J Cutan Immunol Allergy 7: 13676, 2024.
2. Sato M, Kawai K, Yamada A. Postoperative pyoderma gangrenosum in a patient undergoing long-term nivolumab therapy. J Cutan Immuno Allergy 7: 13751, 2024.
3. Nishitani K, Nakamizo S, Shindo T, Kaku Y, Fujimoto M, Hirata M, Mizoguchi K, Kawai K, Kabashima K. Coexistence of oligoclonal and polyclonal HTLV-1-positive T cells with presentation of acute-type adult T-cell leukemia-lymphoma successfully treated by ultraviolet B phototherapy and etretinate. J Eur Acad Dermatol Venereol 39: e297-e299, 2025.

#### 邦文著書

#### その他

#### 国際学会発表

#### 国内学会発表

1. 佐藤美紀, 河井一浩, 星名由紀子, 寺尾香菜, 指宿敦子. 低力価の抗DSG3抗体と抗BP180抗体が検出された口腔扁平苔癬. 日本皮膚科学会新潟地方会第414回例会 (2024/6/29, 新潟)
2. 武居いづみ, 濱 菜摘, 佐藤美紀, 佐藤もも, 樋口麻衣, 加勢夕季乃, 筒井由夏, 長谷川瑛人, 林 良太, 阿部理一郎, 加藤 卓, 梅津 哉. サイトメガロウイルス (CMV) による多発皮膚潰瘍を認めた薬剤性過敏症症候群 (DIHS) の2例. 第88回日本皮膚科学会東部支部学術大会 (2024/9/14-15, 仙台)
3. 佐藤美紀. 東部支部企画CPC. 第88回日本皮膚科学会東部支部学術大会 (2024/9/14-15, 仙台)
4. Nishitani K, Nakamizo S, Shindo T, Kaku Y, Fujimoto M, Hirata M, Mizoguchi K, Kawai K, Kabashima K. Co-existence of oligoclonal and polyclonal HTLV-1-positive T cells successfully treated by ultraviolet B phototherapy and etretinate. 日本研究皮膚科学会第49回年次学術大会 (2024/12/6-9, 名古屋)
5. 佐藤美紀, 河井一浩, 山田 明. ニボルマブ長期投与中の患者に生じたpostoperative pyoderma gangrenosum. 日本皮膚科学会新潟地方会第416回例会 (2024/12/14, 新潟)

#### 教育講演

1. 河井一浩. 皮膚リンパ腫の診断2025. ポートアイランド皮膚疾患研究会2025 (2025/1/18, 神戸)

#### 学会活動

##### ◇河井一浩

- ・日本研究皮膚科学会 (評議員)
- ・日本皮膚悪性腫瘍学会 (評議員)
- ・日本皮膚免疫アレルギー学会 (代議員)
- ・J Dermatol (Editor)

#### 学会座長

##### ◇河井一浩

- ・第54回日本皮膚免疫アレルギー学会学術大会 一般演題座長 (2024/12/20, 郡山)

#### Journal Review

##### ◇河井一浩

- ・J Dermatol (62編)

#### 研究

##### ◇河井一浩

- ・鹿児島大学大学院医歯学総合研究科客員研究員

#### 学生教育・講義

##### ◇河井一浩

- ・鹿児島大学医学部非常勤講師
- ・新潟大学医学部非常勤講師
- ・鹿児島大学医学部3年皮膚科学講義「皮膚リンパ腫」(2024/7/22)

#### 院内活動

##### ◇河井一浩

- ・皮膚科部長
- ・研究部長
- ・基幹型臨床研修病院管理委員
- ・医療情報システム管理運営委員
- ・個人情報保護委員
- ・臨床研究倫理審査委員

##### ◇佐藤信輔（非常勤）

- ・褥瘡対策委員

**【耳鼻咽喉科】**

**1. 活動報告**

**2. 研究・業績**

論文・著書

学会発表

講演

その他

## 【緩和ケア科】

### 1. 活動報告

2024年11月より当科を再開しました。主な対象は「悪性疾患～がん」であり、その病状が思わしくなく入院での対応を要する方です。地域包括ケア病棟に入院していただき、必要な緩和的手当てやサポートを行っています。また悪性疾患以外にも、慢性呼吸器疾患や心不全、腎不全、神経難病等で難治性となった方の入院療養も行います。

これらの方々の病気を治すことはすでに困難ですが、心身の苦痛・辛さの軽減を図ること、病気と共存し穏やかに過ごしていただくこと、人間らしく生きぬいてもらうことなどを支援しています。

### 2. 研究・業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

## 【眼科】

### 1. 活動報告

眼科は新潟大学からの助勤医師により平日、第2・第4土曜日に診療を行っております。白内障手術を中心に手術加療も行っており、外来・手術ともできる限りの医療を提供できるように努めています。

2024年度は植木智志、坂上悠太、小林直太が診療にあたりました。手術加療としては、白内障手術304件、抗VEGF薬120件、また外来でのレーザー治療として網膜光凝固術30件、後発白内障手術48件を施行しました。

2025年度は坂上医師の退職に伴い、植木智志、田沢綾子、安藤拓海、小林直太、安藤克海の5人体制で診療を行います。よろしくお願い申し上げます。

### 2. 研究・業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

## 【放射線科】

### 1. 活動報告

昨年度と同様に、放射線科専門医の常勤医師1名と非常勤医師1名及び遠隔画像診断システムにて、当院施行のCT・MRI検査及び核医学検査の画像診断を施行。

地域連携室を介しての近隣開業医から診療部・放射線科への検査依頼数は、53件（CT検査：51件MRI検査：2件）であった。検査後には殆ど遅滞なく依頼医への読影報告書を作成した。

### 2. 研究・業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

## 【脳神経外科】

### 1. 活動報告

#### 診療体制

2024年4月より常勤医師1人（脳神経外科専門医、脳ドック認定医）の体制で診療を開始しました。外来診療と脳ドックを中心に診療しています。（入院診療・手術は行なっていません）

#### 外来診療

毎週水曜日の午後（予約のみ）診療しています。

脳ドックで発見された無症候性脳梗塞, 頸部内頸動脈狭窄症の投薬

未破裂脳動脈瘤, 脳腫瘍のfollow upや半側顔面痙攣, 頸椎症・腰椎症の投薬を行なっています。

#### 脳ドック

毎週5名の脳ドックを行い、後日外来で結果を説明し書類を郵送しています。

#### 〈当院の脳ドックの現状〉

当院では1.5T MRIによる脳MRI・MR血管撮影（MRA）を基本に脳萎縮解析（VSRD）, MMSE（認知機能検査）, さらに頸動脈エコーをオプションで行っています。

検査時間は1から2時間で、1-2週間後に結果を脳ドック認定医がご説明します。（郵送のみも可）

結果は 脳MRI, 脳MRA, 認知機能, 頸動脈エコーの各項目を 5段階

（A: 異常なし B: 軽度異常 C: 経過観察・生活習慣改善 D: 要精密検査 E: 現在治療中）で判定し総合評価します。D判定の場合は必要に応じて高次医療機関病院へご紹介いたします。

2023年8月より2025年3月までに250名以上の方が受診されています。

男性139名、女性113名 年齢は49才以下 11名, 50～69才 112名, 70才以上129名と70歳以上の方が半数を超えています。

要精密検査の内訳は、脳動脈瘤 7名, 脳腫瘍 5名, 多発性脳梗塞 1名, 頸動脈狭窄 1名, 副鼻腔炎などを認め、高次医療機関病院の脳神経外科などに紹介しました。

### 2. 研究・業績

#### 論文・著書

#### 学会発表

#### 講演

#### その他

#### 関連学会

- ・日本脳神経外科学会
- ・日本脳神経外科コンgres
- ・日本脳ドック学会



## 【歯科・口腔外科】

### 1. 活動報告

#### <診療体制>

星名（口腔外科、歯科）、藤田（歯科、摂食嚥下リハビリテーション）の常勤医2名、鈴木（歯科）嘱託医の計3名で診療を行っている。

#### <一般診療>

- ・患者の高齢化に伴い一般歯科診療は個々の患者の全身状態を考慮した治療を心がけている。
- ・歯周炎のメンテナンス、フッ化物塗布等の予防処置、口腔衛生指導を中心に定期歯科健診を行っている。
- ・2024年度歯科・口腔外科への紹介患者数は311名で、多数の近隣歯科から紹介を受けた。抜歯、菌性感染症の消炎処置、有病者・高齢者の歯科治療、歯の移植、嚢胞性疾患の治療、口腔粘膜疾患や腫瘍性病変の診断などが依頼されている。悪性腫瘍等は速やかに新潟大学へ紹介している。
- ・2024年度歯科口腔外科入院患者は29名で、抗血栓療法施行患者の抜歯のほか、菌性感染症の治療、手術等を行った。

#### <医科歯科連携>

- ・医科入院患者に口腔ケア回診を行い、歯科の介入が望ましい患者に対して歯科衛生士と定期的にカルテカンファレンスを行い、全身状態を把握した上で口腔ケアを行っている。2024年度は病室で口腔ケアを行った回数は1か月平均269回であった。
- ・2024年度消化器外科の悪性腫瘍手術患者の周術期口腔機能管理を78名に、その他の全身麻酔手術前の口腔ケアを23名に行った。
- ・悪性腫瘍の化学療法施行の患者にも周術期口腔機能管理を行うようにとした。
- ・令和6年度診療報酬改定で新設された回復期等口腔機能管理を144名に行った。
- ・言語聴覚士等と連携して当院摂食嚥下障害の患者に対して嚥下内視鏡検査を143件、嚥下造影検査を14件行った。

#### <医療介護連携>

- ・当院関連施設である介護老人保健施設「ほほえみの里きど」および特別養護老人ホーム「あしぬま荘」「風の笛」で、訪問歯科診療、口腔ケア、定期健診を行い、入所者の口腔機能維持、誤嚥性肺炎の予防に努めている。施設でのポータブル嚥下内視鏡検査を26件行った。
- ・複合施設「なじよも」、小規模多機能型居宅介護施設「赤いふうせん」へ歯科衛生士が週半日、出向いて利用者の口腔ケアや職員からの口腔衛生管理の相談に応じている

### 2. 研究・業績

#### 論文・著書

1. Sato M, Kawai K, Hoshina Y, Terao K, Ibusuki A. Oral lichen planus with low-titer autoantibodies to BP180 and desmoglein 3. J Cutan Immunol Allergy 7: 13676, 2024.

#### 学会発表

1. 佐藤美紀, 河井一浩, 星名由紀子, 寺尾香菜, 指宿敦子. 低力価の抗DSG3抗体と抗BP180抗体が検出された口腔扁平苔癬. 日本皮膚科学会新潟地方会第414回例会 (2024/6/29, 新潟)

#### 講演

#### その他

## 【石山診療所】

### 1. 活動報告

#### 診療体制

内 科：佐々木知明、長谷川和樹、若杉裕

皮膚科：佐藤信輔、黛真理子

#### 外来診療

内 科：佐々木所長が火曜日、水曜日、金曜日の終日外来担当している。

2024年4月から長谷川医師が木曜日午後、外来を担当。

2024年6月から若杉医師が月曜日、終日外来を担当。

皮膚科：佐藤医師が月曜日、火曜日、金曜日の午前外来を担当。黛医師が木曜日、終日外来担当。

#### 内科外来

月曜日、火曜日、水曜日、金曜日は午前の部 9時より12時、午後の部 14時より17時で診療。

木曜日は午後の部 13時30分より16時で診療。

#### 皮膚科外来

月曜日、火曜日、金曜日が午前診療。

木曜日は午前の部 9時より12時、午後の部 13時30分より16時で診療。

2024年度の外来延べ患者数は、内科6,303名、皮膚科3,234名、計9,537名であった。

2024年度は発熱患者の受け入れ、検査対応を積極的に行った。昨年度に引き続きコロナワクチン、インフルエンザワクチンの予防接種を行うとともに、帯状疱疹ワクチン、肺炎球菌ワクチン等、各種予防接種にも柔軟に対応した。

2025年1月から、佐々木所長が退職の意向を示し石山診療所休止の体制に入ったが2月に退職を撤回し2025年度は診療体制を縮小して診療を継続していくこととなった。

2025年1月末、皮膚科黛医師が退職。2025年3月末、内科若杉医師が退職となった。

### 2. 研究・業績

#### 論文・著書

#### 学会発表

#### 講演

#### その他

## 【木戸クリニック】

### 1. 活動報告

### 2. 研究・業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

#### ○講義と外来

- ・新潟大学医学部2年生講義（漢方医学、鍼灸医療）
- ・特任教授 外来担当 木曜の午後2時間
- ・木戸クリニック 約30名の患者

#### ◎社会活動

##### ○第1土曜 午後 メディアシップカルチャーセンター

- ・漢方に親しむ
- ・操体法に親しむ

##### ○毎週火曜 12:30～13:00 木戸クリニックにて操体法のお伝え

##### ○第3土曜 13:30～15:30 新潟操体の会（1回/月、約20人ほどに操体法お伝え）

##### ○日本操体法学会 理事会 2-3 ヶ月に1回オンライン 会員宅にて

##### ○日本農林規格登録認証機関 特定非営利活動法人 赤とんぼ

理事長として2024年2月まで（2-3 ヶ月に1回会議）参加

## 2. 看護部

### 1. 活動報告

(1) 新人研修会

入職時研修 8日間

年間研修 12回

(2) 看護部院内研修会

開催総数14回 延べ参加人数579名

(3) 看護部署内研修会

開催総数34回 延べ参加人数395名

(4) インターネット配信講義（ナーシングスキル）

静脈注射研修、看護補助者体制充実加算に係る看護職員向け研修など

手技関連延べアクセス数 19,820回

動画(講義)関連延べアクセス数 7,011回

(5) 看護助手研修会

入職時助手研修会 延べ参加人数21名

開催総数21回 延べ参加人数93名

(6) 院外研修会

参加研修会39回 延べ参加人数75名

新潟看護協会主催研修会、日本医療福祉生活協同組合連合会看護研修会 等

(7) 診療報酬・資格取得のための研修会受講状況

- ・BLSプロバイダー 2名
- ・看護職員認知症対応力向上研修会 1名
- ・看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 1名
- ・臨地実習指導者養成講習会 1名
- ・フットケア研修会 1名

(8) 認定看護師教育課程受講者

感染管理認定看護師教育課程受講 1名

(9) 看護実習生受け入れ

学校法人 北都健勝学園 新潟看護医療専門学校 看護学科

学校法人 新潟福祉医療学園 新潟リハビリ新潟保健医療専門学校 看護学科

学校法人 新潟総合学園 新潟医療福祉大学 看護学部 看護学科

学校法人 新潟総合学園 国際メディカル専門学校 看護学科

(10) 木戸病院看護部説明会

2025年3月開催 3名

(11) 木戸病院看護助手説明会

2024年11月開催 1名

(12) インターンシップ

2024年8月2回開催 7名

2025年2月1回開催 1名

2025年3月3回開催 4名

(13) 高校生1日体験

2024年8月開催 4名

(14) 高校生進路講演会

新潟県立新潟江南高等学校

講師派遣 緩和ケア認定看護師・看護師長 高橋浩美

新潟市立高志中等学校

講師派遣 看護師長 外内真美

## 2. 研究・業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

### 3. 医療安全管理室

#### 【医療安全管理部門】

##### ○管理体制

医療安全管理室は、医療安全管理部門と感染管理部門の2分野ともに2名の専従看護師が配置されている。両分野ともに多職種のチームから構成され、院内における安全対策や感染防止対策の推進・充実に努めるため、医療安全活動の中核的役割を担う。近年では地域の医療機関や介護福祉施設への教育・指導などの支援活動にも力を入れている。

#### 1. 活動報告

##### 主な活動内容

・医療安全管理カンファレンス	1回／週
・医療安全管理委員会	1回／月
・リスクマネージャー会議	1回／月
・看護部医療安全リンクナース委員会	1回／月
・患者サポートカンファレンス	1回／週
・医療安全対策加算地域連携相互評価	4回／年

##### 院内職員研修会

1. 入職時職員研修会 医療安全管理 (2024/4/2)
2. 入職時看護部新人看護師研修会 医療安全管理 (2024/4/10)
3. 入職時看護部新人看護師研修会 静脈注射法的責任 (2024/4/12)
4. 看護部新人看護師3ヵ月研修会 急変時の対応 (BLS) (2024/6/25)
5. 看護助手研修会 急変時の対応 (BLS) (2024/8/6, 8, 19, 21, 23)
6. 看護部部長・主任研修会 外部講師招聘 (2024/9/12)  
「安全な医療を提供するために」  
講師：東京慈恵会医科大学名誉教授・駒沢女子大学非常勤講師 櫻井 美代子先生
7. 診療部・職責者対象医療安全研修会 外部講師招聘 (2024/10/17)  
第1部 「予期せぬ死亡事故の事故調から学んだこと」  
講師：新潟大学名誉教授 内山 聖先生  
第2部 「医療における刑事責任（業務上過失責任）～油断は禁物～」  
講師：木戸病院顧問弁護士 山下 史生弁護士
8. 看護部必須研修会 静脈注射実施の安全対策について (2024/10/23, 24, 25)
9. 看護部新人看護師6ヵ月研修会 医療安全研修会 (2024/10/29)
10. 医療ガス安全講習会 岡谷酸素提供動画視聴 (2025/3/7, 14, 17, 24, 26)

院内全職員必須研修会 2回/年

11. 前期：2023年度各部署インシデント総括発表（2024/7/30, 31, 8/1, 2, 5）
12. 後期：薬剤部より「正しい薬の飲み方について」（2024/11/5, 6, 8, 12, 14）

◇看護学生研修会

13. 医療安全について（看護リハビリ新潟保健医療専門学校）（2024/10/24）
14. 医療安全について（新潟看護医療専門学校）（2024/11/26）

## 2. 研究・業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

院外活動

◇和井田百合子

- ・医療安全管理ネットワーク新潟会員（代表幹事）

資格

◇三膳景子

- ・応急手当普及員認定（新潟市消防局）



## 【感染管理部門】

### 1. 活動報告

#### 主な活動内容

・ 感染管理部門会議	1回／週
・ 院内感染防止対策委員会	1回／月
・ 感染対策向上加算に係るカンファレンス	4回／年
・ 感染対策向上加算に係る相互評価	2回／年
・ 看護部感染リンクナース会	1回／月
・ 新興感染症を想定した合同訓練	1回／年

#### ◇院内感染対策研修会

1. 武田 惇. MMRVに対する職員履歴管理とワクチンプログラムの必要性について. 感染管理研修会 (2024/7/30, 31, 8/1, 2, 5)
2. 武田 惇. 手指衛生のタイミング適正化による手指消毒剤使用量増加への取り組み. 感染管理研修会 (2024/11/5, 6, 8, 12, 14)
3. 武田 惇. PPEリスクマネジメント研修～N95フィットテスト演習～. 感染管理研修会 (2024/12/4, 5, 10, 16)
4. 木島 浩子. Clostridioides difficile感染症 (CDI) の治療について. 感染管理研修会 (2025/2/12, 13, 17, 18, 25)
5. 山崎 房子. Clostridioides difficile感染症 (CDI) の検査について. 感染管理研修会 (2025/2/12, 13, 17, 18, 25)

#### ◇その他、部署別研修会講師

#### ◇法人内事業所研修会・実地指導

### 2. 研究・業績

#### 論文・著書

#### 学会発表

1. 武田 惇, 大崎角栄, 桑原正祐, 樋口奈津子, 加藤留美, 青木美栄子, 佐藤孝江. A市における高齢者福祉施設での感染予防対策リーダー養成研修の成果. 第12回日本感染管理ネットワーク学会学術集会 (2024/5/31, 6/1, つくば)
2. 木島浩子, 武田 惇, 若山正隆, 成田淳一. 職員へ向けた薬剤耐性菌に対する抗菌薬適正使用の取り組みについて. 日本病院薬剤師会関東ブロック 第54回学術大会 (2024/8/10-11, 埼玉)
3. 武田 惇. PPE等の院内備蓄に関するリスクマネジメント. 第12回日本感染管理ネットワーク甲信越支部総会・研修会 (2024/11/9, 新潟)

## 講演

1. 武田 惇. 感染管理認定看護師の活動紹介. 第3回新潟市東区・北区専門看護師・認定看護師の会 (2024/5/17, 新潟)
2. 武田 惇. 感染対策研修会～実践事例を参考に感染症対策の共有を図り, 最善策を考える. 新潟市在宅医療・介護連携事業 東・東第二合同 ご当地連携研修会 (2024/8/21, 新潟)
3. 武田 惇. パンデミックの経験から改めて考える手指衛生. 末広橋病院感染対策研修会 (2024/8/29, 新潟)
4. 武田 惇. 感染症発生時の対応演習. 令和6年度高齢者施設における感染予防対策リーダー養成研修 (2024/9/26, 新潟)
5. 武田 惇. 高齢者・障がい者施設等での利用者や施設環境の特性に応じた感染対策について. 令和6年度「高齢者・障がい者施設等職員向けの感染対策向上に係る研修」(2024/10/1, YouTube配信, 新潟)
6. 武田 惇. 新型コロナウイルス感染症など新興感染症患者の看護/感染症多発時のゾーニング. 令和5年度災害支援ナース養成研修 (2024/11/22, 新潟)
7. 武田 惇. 高齢者施設での利用者や施設環境の特性に応じた感染対策について. 新潟医療生協介護事業所感染対策研修会 (2024/11/28, 新潟)

## その他

### 実地指導

1. 武田 惇, 木島浩子. 指導強化加算に係る実地指導. 新潟万代病院 (2024/6/5, 新潟)
2. 武田 惇. 令和6年度高齢者施設における感染予防対策リーダー研修相互ラウンド. 介護老人保健施設おぎの里 (2024/7/22, 新潟)
3. 武田 惇. 令和6年度高齢者施設における感染予防対策リーダー研修相互ラウンド. 介護老人保健施設亀田園 (2024/7/29, 新潟)
4. 武田 惇. 指導強化加算に係る実地指導. 末広橋病院 (2024/8/6, 新潟)
5. 武田 惇. 指導強化加算に係る実地指導. 新潟万代病院 (2024/9/19, 新潟)

### 研究会・その他

1. 武田 惇. 一般社団法人日本感染管理ベストプラクティス研究会新潟ワーキンググループアドバイザー (2024/7/6, 9/14, 新潟)
2. 武田 惇. 令和6年度高齢者施設における感染予防対策リーダー養成研修, 指導者 (2024/6/25, 9/26, 11/19, 11/27, 新潟)
3. 武田 惇. 令和5年度災害支援ナース養成研修, 指導者・新潟県看護協会健康危機対策支援委員会オブザーバー (2024/8/2, 9/13, 10/30, 11/21, 22, 新潟)
4. 武田 惇. 新潟市東区・北区専門看護師・認定看護師の会 (2024/5/17, 7/19, 新潟)

## 寄稿

1. 武田 惇. 新型コロナウイルス感染症対応～当時を振り返り, これからの考え思うこと. 新潟医療生活協同組合創立50周年記念誌 (2025/2)

## 学生教育・講義

### ◇武田 惇

新潟看護医療専門学校, 非常勤講師「災害看護学」(2024/9/18)

## 認定資格

### ◇武田 惇 感染管理認定看護師（日本看護協会）

## 院外活動

### ◇武田 惇 感染管理ネットワーク新潟会員（会長）

新潟医療関連感染制御コンソーシアムCHAIN会員（世話人）

日本感染管理ネットワーク一般会員

感染管理ベストプラクティス研究会一般会員（アドバイザー）

感染管理ベストプラクティス研究会新潟ワーキンググループ（代表幹事）

感染管理に関する近隣病院からのコンサルテーション, アウトブレイク支援

## 4. 薬剤部

### 1. 活動報告

#### 1. 2024年度 調剤業務等実績

- ・処方件数…………… 100.1件（日平均）〔前年比 +5.7件〕
- ・注射セット件数…………… 140.6件（日平均）〔前年比 +5.0件〕
- ・服薬指導件数…………… 2,033件（年 間）〔前年比 -33件〕
- ・抗がん剤調製件数…………… 821件（年 間）〔前年比 +113件〕

#### 2. 学会・研修会などへの参加

- ・日本病院薬剤師会関東ブロック 第54回学術大会…………… 1名
- ・第10回日本医薬品安全性学会学術大会…………… 1名
- ・第18回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会2024…………… 2名
- ・第89回日本循環器学会学術集会…………… 2名
- ・第30回日本糖尿病性腎症研究会…………… 1名
- ・第34回日本医療薬学会…………… 1名
- ・日本臨床腫瘍薬学会学術大会2024…………… 1名

#### 3. リスクマネジメント

人員の補充が追いつかない中、業務内容の増大も相まって思い込みによるインシデントが多かったように思われます。新年度に向けて病棟業務加算を取るための業務体系の変更を行っており、より一層の注意喚起が必要となります。昨年度のインシデントを踏まえ、外来患者さまが使用される注射薬の発注漏れを防ぐため対策を取ってきましたが、ヒューマンエラーにより患者さまにご迷惑をかける事態が発生しました。明確な内容を相手に伝え、相手側は理解に齟齬がないことを確認するよう務めていきます。昨年度の麻薬に関するトラブルは、全て早期発見され適切な対応が取られており、問題になるような事象はありませんでした。引き続き 適正使用・保管に努めていきます。

#### 4. 感染対策チーム（ICT）・抗菌薬適正使用支援チーム（AST）の活動

感染防止対策加算に関わる年4回の施設間カンファレンスと週1回のICT・ASTカンファレンスで、抗菌薬使用状況の把握・報告をし、新規カルバペネム系抗菌薬と抗MRSA抗菌薬使用患者についてカンファレンスを行い、抗菌薬適正使用の推進。「Clostridioides difficile感染症の治療について」をテーマに院内感染研修会を行った。

施設間カンファレンスにて「Clostridioides difficile感染症の治療について」の発表を行い、情報共有を行った。感染連携施設にて、J-SIPHEのサーベイランスの説明を行った。

#### 5. 栄養サポートチーム（NST）の活動

週1回NST回診を行い、対象患者の点滴・内服薬の確認、情報共有、改善策の提案を行いました。また、月1回のNST学習会では7月に「くすりと栄養のこと～内服方法をふまえて～」という題材で学習会を行いました。

## 6. 化学療法委員会の活動

- ① 2024年4月から2025年3月までに新規登録されたレジメンの承認確認を行いました。
- ② エンドキサン使用レジメンとエンドキサン払出時の対応が変更されました。
- ③ 登録レジメンの見直しを行い、使用されていないレジメンを中止にしました。
- ④ 乳癌、胃癌、膵臓癌・胆管癌レジメンの制吐剤を変更しました。
- ⑤ 血管外漏出報告書、漏出経過表の見直しを行い、報告書・経過表は廃止し看護記録とアイリスへの記載のみに変更されました。
- ⑥ 漏出部位撮影に伴う説明・同意書の見直しを行い、同意書は廃止し口頭の上に、撮影した画像はYahgeeへ記載に変更されました。
- ⑦ 抗癌剤調製用ラベルの記載内容が変更されました。
- ⑧ 急速静注フルオロウラシルのレジメンが変更されました。
- ⑨ 抗癌剤漏出対応プロトコルが見直されました。
- ⑩ がん化学療法レジメン登録申請書が改訂されました。

## 7. 褥瘡委員会

月2回の回診では多職種で褥瘡の病態を観察し、薬剤の特性から治療薬を提案し、薬剤使用後の評価を行いました。また、入院時及び褥瘡発生時には「褥瘡に関する治療計画書」を記入することで、薬学的視点からの褥瘡の予防と改善に努めました。

## 8. 糖尿病教育入院の活動

集団教育での講義等を行っていないため、患者個々の服薬指導で対応しました。

## 9. 心臓リハビリテーションチームの活動

月2回の多職種カンファレンスに参画し、服薬指導と患者情報の共有に努めました。

## 10. 薬薬連携

年2回のセミナーを開催し、実務実習生の症例報告や病院薬剤師からの話題提供を行い、薬薬連携の強化と臨床教育の推進に努めました。また、国の心不全モデル事業に手上げを行い、薬薬連携を用いた心不全患者の退院後服薬フォローアップの実践を行いました。

## 11. 専門資格（2025年3月現在）

・感染制御認定薬剤師	1名
・腎臓病薬物療法認定薬剤師	2名
・NST専門療法士	2名
・日本糖尿病療養指導士	1名
・心不全療養指導士	2名
・心電図検定1級	1名
・日病薬病院薬学認定薬剤師	5名
・実務実習指導薬剤師	3名

## 2. 研究・業績

### 論文・著書

#### 英文

1. Mochida S, Hirashima M, Yamaguchi T, Saito M. Induction of severe initial dip in estimated glomerular filtration rate by sodium-glucose cotransporter 2 inhibitors and baseline hemodynamics. Jpn J Pharm Health Care Sci 50: 440-450, 2024.

#### 和文

1. 持田知志, 平島麻由美, 増井有香, 大窪愛香, 山口利夫, 齊藤幹央. ヨード造影剤によるアナフィラキシーショック既往患者に対し薬剤師の提案に基づく前投薬の実施によりCAG/PCIの施行が可能となった1例. 医薬品安全性学 10: 123-130, 2024.

### 学会発表

#### 一般演題

1. 持田知志, 平島麻由美, 増井有香, 大窪愛香, 山口利夫, 齊藤幹央. ヨード造影剤によるアナフィラキシーショック既往患者に対し薬剤師の提案に基づく前投薬の実施によりCAG/PCIの施行が可能となった1例. 第10回日本医薬品安全性学会学術大会 (2024/7/20-21, 新潟)
2. 木島浩子, 武田 惇, 若山正隆, 成田淳一. 職員へ向けた薬剤耐性菌に対する抗菌薬適正使用の取り組みについて. 日本病院薬剤師会関東ブロック 第54回学術大会 (2024/8/10-11, 埼玉)
3. 持田知志, 平島麻由美, 山口利夫, 齊藤幹央. 心不全患者におけるエンパグリフロジンおよびダパグリフロジンによるeGFR Dip誘発に関連する影響因子の検討. 第18回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会2024 (2024/9/7-8, 優秀演題候補, 北海道)
4. 平島麻由美, 持田知志, 増井有香, 山口利夫, 齊藤幹央. ビルシカイニド中毒を誘発した高齢腎機能低下患者の背景的特徴に対する後方視的調査. 第18回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会2024 (2024/9/7-8, 北海道)
5. 持田知志, 平島麻由美, 山口利夫, 齊藤幹央. 心不全患者におけるエンパグリフロジンによるinitial dip誘発に関連するリスク因子の検討. 第89回日本循環器学会学術集会 (2025/3/28-30, 神奈川)

### 研修・講演会

1. 木島浩子. 認定・専門薬剤師の資格申請/更新の極意－合格率アップの裏技と魅力的な症例報告の書き方. 第38回新潟県薬剤師のための感染制御セミナー (2024/6/15, 新潟)
2. 持田知志. 心不全患者の服薬指導を行うにあたって知っておきたいポイント. 木戸病院薬薬連携セミナー (2024/10, 木戸病院講堂)
3. 持田知志. SGLT2阻害薬によるinitial dip誘発に関連するリスク因子の検討. 新潟県病院薬剤師会学術講演会 (2024/11, 新潟)
4. 持田知志. 糖尿病性関連腎臓病を薬剤師の視点で捉える. 新潟市薬剤師会学術講演会 (2025/3/19, 新潟)

その他

学会活動

◇持田知志

・日本医薬品安全性学会（評議員）

受賞歴

◇持田知志

・新潟県病院薬剤師会学術奨励賞

## 5. 診療技術部

### 【検査科】

#### 1. 活動報告

院内感染対策において医療安全管理室、ICTの指導のもと迅速な情報発信に努めました。

ICT（感染制御チーム）、NST（栄養サポートチーム）、褥瘡、糖尿病診療、心不全診療、臨床研究支援など、様々な場面で臨床検査技師が活躍しました。

2021年度法令改正によるタスクシフトシェアにより技師が行えるようになったリブレ（持続皮下グルコース測定）のセンサー装着について医師業務から技師業務へ移管しました。操作説明、検査開始、データ管理を検査科で一貫して行い診療支援に貢献してきました。

また生理検査部門では、各種超音波検査の拡大に取り組み、下肢静脈エコー、頸動脈エコーの検査数増加に繋がりました。また看護支援として入院患者様への検査説明を開始しました。

#### スタッフ構成

臨床検査技師18名

助手1名

#### 参加外部精度管理

- ・日本医師会臨床検査精度管理調査
- ・日本臨床検査技師会臨床検査精度管理調査
- ・新潟県臨床検査精度管理調査
- ・日本総合健診医学会精度管理調査
- ・厚生労働省事業新型コロナウイルス感染症のPCR検査等にかかる精度管理調査

#### 定例会議

毎月1回 第3木曜日開催

#### 2. 研究・業績

##### 論文・著書

##### 和文

1. 持田知志, 平島麻由美, 増井有香, 大窪愛香, 山口利夫, 齊藤幹央. ヨード造影剤によるアナフィラキシーショック既往患者に対し薬剤師の提案に基づく前投薬の実施によりCAG/PCIの施行が可能となった1例. 医薬品安全性学 10: 123-130, 2024.

##### 学会発表

1. 持田知志, 平島麻由美, 増井有香, 大窪愛香, 山口利夫, 齊藤幹央. ヨード造影剤によるアナフィラキシーショック既往患者に対し薬剤師の提案に基づく前投薬の実施によりCAG/PCIの施行が可能となった1例. 第10回日本医薬品安全性学会学術大会（2024/7/20-21, 新潟）



2. 木島浩子, 武田 惇, 若山正隆, 成田淳一. 職員へ向けた薬剤耐性菌に対する抗菌薬適正使用の取り組みについて. 日本病院薬剤師会関東ブロック 第54回学術大会 (2024/8/10-11, 埼玉)
3. 増井有香, 神林真弓, 飯沼裕美, 横木結衣, 山口利夫. 稀な形態を呈した巨大左心室瘤の1例. 第97回新潟県臨床検査学会 (2024/9/29)

#### 学会発表

#### 講演

#### その他

#### 院外活動

##### ◇高橋裕輔

- ・新潟県臨床検査技師会新潟支部臨床化学検査研究班長

##### ◇神林真弓

- ・新潟県臨床検査技師会常任理事

##### ◇山崎房子

- ・令和6年度第4回感染防止対策向上加算に係るカンファレンス (2025/3/13)  
「CDI感染症について」

#### 院内活動

##### ◇増井有香

- ・多職種心臓リハビリカンファレンス・学習会 (2025/1/24)  
「20分で覚える心電図のキホン, 病棟で胸痛の心電図をとったら」

##### ◇山崎房子

- ・令和6年度第2回AST研修会 (2025/2/12-25) 全5回  
「CDIの検査について」

#### 国家資格

- ・臨床工学技士 6名
- ・タスク・シフト／シェアに関する厚生労働省指定講習会修了者 13名

#### 認定資格

- |                         |    |
|-------------------------|----|
| ・循環器領域超音波検査士 (日本超音波医学会) | 3名 |
| ・健診領域超音波検査士 (日本超音波医学会)  | 1名 |
| ・認定心電検査技師 (日本臨床衛生検査技師会) | 1名 |
| ・認定救急検査技師 (日本臨床衛生検査技師会) | 1名 |

・ 認定一般検査技師（日本臨床衛生検査技師会）	1名
・ 生殖補助医療胚培養士（日本卵子学会）	1名
・ 不妊カウンセラー（日本不妊カウンセリング学会）	1名
・ 緊急臨床検査士（日本臨床検査同学院）	3名
・ 二級臨床検査士：血液学（日本臨床検査同学院）	2名
・ 二級臨床検査士：循環生理学（日本臨床検査同学院）	1名
・ 二級臨床検査士：血清学（日本臨床検査同学院）	1名
・ 新潟県地域糖尿病療養指導士	1名
・ 臨地実習指導者講習会修了者	3名
・ 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種基礎研修修了者	1名

## 【病理検査科】

### 1. 活動報告

#### 人員体制

細胞検査士 3名

臨床検査技師 1名

### 2. 研究業績

#### 論文・著書

#### 学会発表

#### 講演

#### その他

#### 国家資格

◇臨床工学技士 1名

◇検体採取等に関する厚生労働省指定講習会修了者 1名

#### 認定資格

◇特定化学物質作業主任者 1名

◇有機溶剤作業主任者 1名

## 【放射線科】

### 1. 活動報告

#### スタッフ構成

診療放射線技師 11名（男性9名 女性2名）

#### 撮影装置

一般撮影装置	4台
X線透視装置	2台
CT装置（64列）	1台
MRI装置（1.5T）	1台
核医学診断装置	1台
血管造影X線診断装置	1台
骨密度測定装置	1台
乳房X線撮影装置	1台
術中外科用X線透視装置	1台
移動型X線撮影装置	3台

#### 業務実績

##### <診療部門>

一般撮影	13,038件
ポータブル撮影	2,537件
マンモグラフィー	525件
骨密度	670件
手術室（透視＋撮影）	378件
胃・注腸検査	70件（食道9件 胃11件 注腸48件）
透視検査	413件
CT	7,579件（冠動脈CT 76件 大腸CT 9件 AI 51件 口腔外科CT 87件）
MRI	2,415件
核医学（RI）検査	340件
血管造影検査	201件（循環器145件 消化器13件 透析43件）
歯科X線パノラマ撮影装置	144件

##### <健診部門>

一般撮影	7,207件
マンモグラフィー	2,056件
骨密度	432件
胃検査	3,243件
脳ドック	175件
低線量胸部CT	7件（2025年2月～）

### 【高額医療機器の有効活用】

機器の稼働率向上の為、積極的に委託・依頼検査を受け入れました。

健診部門ではオプション検査として低線量胸部CTを新たに追加採用し、脳ドックでは頭部MRI検査枠を3日/週から5日/週に増枠し稼働率を上げることができました。

### 《紹介・委託件数》

紹介件数		委託件数	
CT検査	56件	CT検査	23件
MRI検査	1件	MRI検査	467件
RI検査	0件	RI検査	138件

### 放射線科会議（月1回）

前月件数・達成率報告・経営状況報告  
インシデント報告・討議  
各委員会からの報告・討議  
各モダリティ担当からの報告  
テクニカルブリーフィング

### 《職員の職業被曝管理》

毎月ガラスバッジによる放射線従事者の被曝線量管理と報告を行っている。

法令改正に従い、目の水晶体被曝について不均等被曝線量管理を行っている。

対策として放射線防護具を積極的に取り入れ、検査プロトコルの見直しを行い、放射線従事職員の被曝低減に努めている。

医療放射線安全管理規定に従い、医療放射線の安全利用の為の職員研修を随時開催し、放射線業務に関わる職員への啓蒙に努めている。

- ・2024年度ガラスバッジ使用者 52名（内38名不均等、2名水晶体）2025年2月時点
- ・経過措置対象者 医師2名 経過を安全衛生委員会に報告

### 医療放射線安全管理委員会（年2回）

2024/7/11 木戸病院の放射線管理の現状について  
被曝線量管理システム導入の可否について

### 実習生受入

- ・新潟医療福祉大学医療技術学部 診療技術学科 男1名  
実習科目「臨床実習Ⅰ」 2024/6/10～2024/8/2

## 2. 研究・業績

### 論文・著書

### 学会発表

### 講演

### その他

#### 院内研修会

診療用放射線安全管理研修会 新人看護師対象（2024/4）

ICLS急変時対応研修会 診療放射線技師・透析室看護師対象（2025/2/22）

#### 院外活動

◇生協診療技術部部長 診療放射線技師 小熊義則

一般社団法人新潟県診療放射線技師会理事 編集・広報部長として活動中

「告示研修」ファシリテータとして活動中

令和6年公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰受賞（2025/2/25, 東京）

◇診療放射線技師 中島広晶

新潟アンギオ画像研究会 世話人として活動中

◇診療放射線技師 小山内彩乃

一般社団法人新潟県診療放射線技師会理事

新潟救急撮影研究会 世話人として活動中

ICLSインストラクターとして多方面で活躍中

#### 認定資格

◇主任診療放射線技師 田村好美

・検診マンモグラフィー撮影技術認定技師

（NPO法人乳がん検診精度管理中央機構）

◇診療放射線技師 小山内彩乃

・検診マンモグラフィー撮影技術認定技師

（NPO法人乳がん検診精度管理中央機構）

P-MET（医療研修推進財団）主催

診療放射線技師臨床実習指導者講習会修了

◇主任診療放射線技師 田村好美

◇診療放射線技師 三浦建一

公益社団法人日本診療放射線技師会主催

「令和3年厚生労働省告示第273号研修（告示研修）」修了者

2022/3/5 小熊義則 修了

2022/6/19 田村好美 修了

2023/1/22 筒井吉市・三浦建一 修了

2024/2/18 松島尚男・中島広晶・金澤崇史 修了

## 【リハビリテーション科】

### 1. 活動報告

#### 【理学療法室】

- ・定例勉強会、症例検討会：回復期チームは週1回  
急性期チームは月2回程度

#### ◇本間一成

- ・臨床実習指導者講習会修了

#### ◇丸山維吹

- ・臨床実習指導者講習会修了

#### 【作業療法室】

- ・定例勉強会、症例検討会：週1回程度

#### ◇杉原正浩

- ・臨床実習指導者講習会修了

#### 【言語聴覚療法室】

- ・定例勉強会：週1回

### 2. 研究・業績

#### 論文・著書

#### 学会発表

#### 講演

#### その他

#### ◇丸山敦也

- ・介護予防のための地域ケア個別会議参加

#### ◇星井真悠

- ・新潟県作業療法士会 学会運営委員会 運営
- ・新潟県作業療法士会 公開講座実行委員会
- ・新潟県作業療法士会 スキルアップ研修会

#### ◇本田俊一

- ・新潟県言語聴覚士会 理事
- ・新潟県リハビリテーション専門職協議会 研修実行委員会 運営
- ・介護予防のための地域ケア個別会議参加



## 【栄養科】

### 1. 活動報告

#### 2024年度実績報告

- ・給食総数205,107食      特別食加算算定率38.1%
- ・入院時栄養指導      745件
- ・外来栄養指導      1586件

#### チーム医療への参加

- ・栄養サポートチーム
- ・褥瘡委員会
- ・心不全チーム
- ・糖尿病診療
- ・病棟カンファレンス

### 2. 研究・業績

#### 論文・著書

#### 学会発表

#### 講演

#### その他

#### 院内学習会

##### ◇山岸 彰子

NST学習会「木戸病院の食事について」(2025/1/15)

##### ◇福田有加里

多職種心臓リハビリカンファレンス「不全手帳を用いた栄養指導」(2025/2/28)

##### ◇新潟医療生活協同組合機関紙

「すこしおレシピ」(年3回、当院で提供している減塩レシピの紹介)

#### 院外活動

##### ◇山岸彰子, 矢尾板恵美, 吉田花雅美, 相羽有紗

新潟市糖尿病ミニ講座／講師担当

「嗜好品との上手な付き合い方～おやつとアルコール～」(2024/5/26)

「一人暮らしの方へ～具体的な食事の工夫・コツについて～」(2024/7/28, 11/24, 2025/3/23)

◇新村友子

食生活の改善に向けた業務セミナー「また作りたくなる料理セミナー」（調理実習）（2024/6/18）

◇山岸彰子

新潟県栄養士会医療事業部研修会 シンポジウム

「令和6年度診療報酬改定における栄養管理マニュアルの検討について」（2024/7/27）

◇藤井絵美子, 荒木亜由美

新潟市病院給食研究会 実践発表会

「木戸病院栄養科 班活動 衛生・インシデント班の取り組み紹介」（2025/2/26）

◇矢尾板恵美

新潟市病院給食研究会 栄養理事・会計

認定資格

- ・日本糖尿病療養指導士（1名）
- ・日本病態栄養専門管理栄養士（1名）
- ・NST専門療法士（2名）
- ・健康運動指導士（1名）
- ・JDA- DADリーダー（1名）

## 【臨床工学科】

### 1. 活動報告

臨床工学科体制 臨床工学技士8名

#### 2024年度業務実績

- ・医療機器保守管理業務（修理・点検等）
- ・手術室業務
  - 眼科白内障手術機器操作
  - 整形外科関節鏡手術機器操作
  - 麻酔器点検
- ・ペースメーカ業務
  - 植込み業務（電池交換含む） 31件
  - 設定変更業務
  - 外来フォローアップ業務
  - 遠隔モニタリング業務
  - 患者管理業務（連絡の窓口、記録の管理等）
- ・透析業務
  - 透析診療（月・水・金）午前・夜間  
（火・木・土）午前・午後
  - シャントエコー評価 89件
  - 特殊療法業務
    - CHDF 1症例
    - 腹水濾過濃縮再静注法 1症例
  - 透析用監視装置（定期点検・修理・水質管理、等）

### 2. 研究・業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

院内研究会・学習会・勉強会

- ・輸液ポンプ・シリンジポンプ勉強会 新人看護師対象12名参加（2024/5/28）
- ・搬送用人工呼吸器勉強会 看護師35名参加（2024/7/11）
- ・除細動器操作説明会 看護師10名参加（2024/7/12）
- ・医療ガス安全講習会 全職員対象（2025/3/7, 14, 17, 26）

## 6. 事務部

### 1. 活動報告

事務部は、医事課・診療事務課・庶務課の3課で構成されています。

病棟再編や経営改善が必要とされる中、データ分析を行いながら行政と院内各部署との連携をさらに強化し継続を図りつつ、3課で分担し速やかな業務遂行に努めました。また3課ともに医療従事者業務支援（タスクシフト）の開始からさらなる推し進みを図り、医師、看護業務の負担軽減および院内業務の効率化、適正な医療の提供と患者ファーストとなるべく、関係各部署とあらたな業務の確立や業務改善に努めました。

医事課では診療部との連携を図り、DPC/ PDPS（診療群分類別包括支払い制度）での適正な診療報酬請求業務に努めるとともに、年間救急車受入れ件数増加、入院患者数増加に向け、運用の見直しや提案をし、診療部への依頼など増収への取組みに努めました。診療部だけでなく、看護部や地域連携室と情報共有し、患者を適切な病棟へ入院ができるように、ベットコントロールの協力を行いました。また、発熱患者対応では、院内感染防止対策に従い隔離対応を含めた受付案内や事務的対応に努め、引き続き感染対策を行いながら、業務を遂行しています。

診療事務課では、病棟、外来での医師事務作業補助（クラーク）と検査予約センターを担当しています。医師事務作業補助者（クラーク）は、病棟と外来での診療補助だけでなく、薬剤疑義や各種書類または入院総括の作成補助業務等にも従事しています。特に、医療従事者業務支援（タスクシフト）が開始されてからは、配置箇所の増加および医師補助業務の拡大がすすめられました。その都度、医師、看護部、関係各部署との連携を図りつつ業務拡大に努めました。検査予約センターでは診察室(医師)と各検査担当部署との連携を図りながら検査予約および患者ファーストとなる説明に努めました。

庶務課では、該当部署との連携を図りつつ施設基準に係る届出を行いました。医師・研修医の確保に関わる事務的業務や初期臨床研修に関わる事務的業務(卒後臨床研修管理委員会等事務局含む)や院内設備機器関連、他部署への助勤等も含め、多岐にわたって院内の事務系庶務業務を担い円滑な院内業務連携に努めました。非常勤医師を含む医師確保に努めるとともに、2023年4月に取得した医師宿日直許可に続き、看護師の宿日直許可取得の取り組みを進めました。

### 2. 研究・業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

主な研修

- ・臨床研修病院入院診療加算(基幹型)における保険診療に関する講習会
- ・新潟医療生協実践発表会
- ・医療安全感染管理研修会

- ・診療報酬改定研修会
- ・施設基準届出研修会
- ・大腿骨近位部骨折サポーター研修会
- ・クレーム対応力アップ講座
- ・新潟地域連携パス研修会
- ・医師事務作業補助者医師クランク研修会
- ・インシデントレポート実践発表会

## 7. 地域包括部

### 1. 活動報告

#### 管理体制

地域包括部では、地域連携室(前方連携)と医療相談室(後方連携)の2分野に分かれ、看護師5名、医療福祉相談員7名、事務職員2名が配置されている。

#### 主な活動・実績報告

##### (1) 地域連携室

紹介・逆紹介患者の診療予約や転院調整、返書管理等を行っている。

#### 科別紹介患者

診療科	合計 (件)	入院 (件)
内科	1,823	473
耳鼻科	131	0
婦人科	83	0
小児科	180	96
整形外科	228	97
外科	128	35
皮膚科	90	1
眼科	209	0

診療科	合計 (件)	入院 (件)
泌尿器科	157	0
神経内科	218	69
脳神経外科	1	0
ペインクリニック外科	1	0
緩和ケア科	10	10
放射線科	51	0
歯科	317	10
計	3,627	791

#### 紹介率・逆紹介率

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
紹介率(%)	50.1	45.6	53.2	54.8	57
逆紹介率(%)	25	22.7	20.3	21.3	21.5

##### (2) 医療相談室

入退院支援を含めた医療・介護・福祉制度等の様々な相談業務を行っている。

#### チーム医療への参加

- ・急性期病棟 カンファレンス 週1～2回
- ・回復期リハビリ病棟 カンファレンス 週4回
- ・心不全カンファレンス 月2回
- ・糖尿病カンファレンス 週2回
- ・消化器内科カンファレンス 週2回
- ・糖尿病センタースタッフ会議 隔月開催
- ・退院支援部門ミーティング 月4回

#### 入退院支援加算1 (算定件数)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
入退院支援加算	952	1,077	1,256	1,340	1,477

入院時支援加算（算定件数 2022年度より開始）

	2022年度	2023年度	2024年度
入院時支援加算	226	190	285

医療福祉相談の援助内容、方法

援助内容	(件)
受療に関すること	1,122
経済問題	64
背景把握	2,236
不適応援助	12
諸問題援助	170
制度利用	957
社会復帰	8,362
アフターケア	98
その他	17
計	13,038

援助の方法	(件)
面接（患者 家族）	4,018
電話相談（患者 家族）	1,842
院内連絡調整	979
院外連絡調整	5,081
個別カンファレンス	658
院外への訪問・同行	13
診察・病状説明同席	447
その他	0
計	13,038

## 2. 研究・業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

院外活動

(1) 新潟市在宅医療・介護連携推進ステーション東第二

◇ご当地連携研修会（医療・介護の従事者対象）

・感染研修会（2024/8/21, 東区プラザ）

◇意思決定支援研修

・意思決定支援研修会（2024/4/25, 12/19, 木戸病院）

◇地域看護連携事業（保健師・看護師対象）

・看護職だからこそできる意思決定支援（2024/11/29, 東区プラザ）

◇在宅医療・介護の市民公開講座（地域住民対象）

・介護保険の上手な使い方といざという時のために必要なこと（2024/4/16, 木戸公民館）

・上手な医療のかかりかた（2024/6/27, 本馬越集会所）

・上手な医療のかかりかた もしもシートについて（2024/9/24, 中木戸公民館）

・介護について学ぼう（2024/10/11, 地域の茶の間 上木戸広場=遊=you）

・認知症と共に暮らす（2024/10/12, 東区プラザ）

- ・介護保険について もしもシートについて (2024/12/4, 東区プラザ)
- ・上手な医療のかかりかた (2025/3/14, 大形地区地域の茶の間)

◇医療と介護の出前スクール (小中学生、高校生対象)

- ・開業助産師、介護福祉士の仕事の魅力を伝える (2024/11/11, 中野山小学校)
- ・地域で活躍する医療・介護の専門職より仕事の魅力を伝えてもらう (2025/2/6, 大形小学校)
- ・地域で活躍する医療・介護の専門職より仕事の魅力を伝えてもらう (2025/2/14, 南中野山小学校)

(2) ぽーちゅらかネット研修会 (木戸・大形・石山圏域 地域ネットワーク 事務局担当)

- ・終末期医療を考える～在宅・施設・病院それぞれの立場から～ (2024/9/13, 東区プラザ)



## 8. 健診センター

### 1. 活動報告

#### 体制

常勤医師	2名（人間ドック健診専門医・認定医1名、日本脳ドック学会認定医1名）
保健師	4名（人間ドック健診情報管理指導士4名）
看護師	1名（臨時職）
検査技師	1名（臨時職）
事務職員	15名

#### 健診実績：10,317人

日帰りドック	2,646名
脳ドック	189名
協会けんぽ付加健診	305名
特定健診	2,422名
協会けんぽ健診	1,970名
生活習慣病健診	43名
職員協会けんぽ健診	351名
職員簡易健診	693名
事業所健診	1,181名
採用時健診	270名
ヤングミドル健診	35名
特定保健指導	212名

#### 健診受診後

当日結果報告：日帰りドック	738名
うち食事・運動等の生活指導	738名
後日結果報告：844名	
うち精密検査予約・紹介	473名

日本総合健診医学会 優良総合健診施設認定

更新期間：2023/4/1～2026/3/31

健康評価施設査定機構 優良認定施設

更新期間：2023/4/1～2026/3/31

### 2. 研究・業績

#### 論文・著書

学会発表

講演

その他

## 9. 研究部

### 1. 活動報告

研究部は診療情報管理士3名で業務を行っています。

主な業務は、診療録の点検・保管・診療の分析となっています。診療録の質的点検においては、多職種で評価・フィードバックをしていることに、日本医療機能評価機構からお褒めの言葉をいただきました。

専門的な業務の病名のコーディングでは、DPCの精度向上に努めました。がん登録、NCD（National Clinical Database）への症例登録、疾病統計、クリニカルインジケータの作成など、医療の質と安全の向上、経営効率の改善に努めました。

当部署に求められる業務としては、診療情報の分析を行い医療の質を高めることです。個人のスキルアップと分析ツールを活用し、病院経営に貢献していきたいと考えています。

学生実習を今年度も3校（専門学校・大学）から受け入れました。現場での経験を通して知識と技術を結びつける学習機会の提供ができたと思います。

図書業務では、雑誌・書籍の購入、文献の取り寄せなど職員の要望に応えられるように業務を行いました。年々値上がりする雑誌や書籍の値段については検討課題だと認識しています。

2024年度も職員の皆様から寄稿いただき木戸病院医誌vol.23を発行しました。

### 2. 研究・業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

・第54回新潟県診療情報管理研究会（2024/9/21, 新潟）

文献検索システム

医中誌Web. Ver.5

最新看護索引Web

定期購読雑誌

洋雑誌

Circulation

Diabetes

Diabetes Care

Gastroenterology

Journal of American College of Cardiology

Journal of Bone & Joint Surgery

Lancet

New England Journal of Medicine

和雑誌

Brain and Nerve（医学書院）

Infection Control

Journal of Clinical Rehabilitation

Rad Fan（メディカルアイ）

胃と腸

栄養と料理

オペナーシング

画像診断

眼科ケア

関節外科

肝胆膵

クリニカルエンジニアリング

月刊 新医療

月刊保険診療

月刊薬事

検査と技術

呼吸器ジャーナル

呼吸器内科

コミュニティケア

作業療法ジャーナル

循環器ジャーナル

消化器外科

消化器内視鏡

小児科診療

小児科臨床

小児内科

心臓

腎と透析

整形外科

整形・災害外科

胆と膵

デルマ

デンタルハイジーン

透析ケア

糖尿病ケア＋

日本医事新報  
日本歯科評論  
日本整形外科学会雑誌  
乳癌の臨床  
脳神経内科  
皮膚科（科学評論社）  
補綴臨床  
メディカル・テクノロジー  
薬局  
理学療法  
理学療法ジャーナル  
臨床栄養  
臨床画像  
臨床消化器内科  
レクリエ  
レジデントノート

## 10. 卒後臨床研修管理委員会

2024年度初期臨床研修についての活動報告

卒後臨床研修管理委員会プログラム責任者 山口利夫

2024年度の研修は1年次研修医3名（眞鍋医師、高橋医師、辻医師）、2年次研修医2名（守屋医師、内海医師）で構成されました。以下活動の概要です。

2024年

4月：現行プログラム（募集定員1名）と糖尿病/地域包括医療重点プログラム、（募集定員1名）、徳洲会病院連携先プログラム（募集定員1名）、産業医臨床研修プログラム（募集定員1名）とする合計4本のプログラムで届出を行う。

：新潟大学生限定病院説明会に参加。ブース来場者16名

7月：新潟大学生限定病院説明会に参加。1年生～6年生20名が参加し、病院説明を行った。

8月：医師面接試験（1名）

10月：医師面接試験（1名）

1名マッチング、1名二次募集にて採用

CPC開催（守屋医師 眞鍋医師）

11月：マイナビレジデント主催オンライン病院説明会に参加

12月：新潟大学生限定病院説明会に参加。参加学生56名、ブース来場者3名。

徳洲会病院グループ病院説明会に参加。参加学生93名、ブース来場者19名

2025年

1月：基本的臨床能力評価試験（眞鍋医師）

2年次初期研修医採用（1名）

2月：県担当者による募集定員に関するヒアリング、修了認定に係る運営委員会開催。

指導医講習会受講（1名）

3月：卒後臨床研修管理委員会開催。守屋医師の修了認定。

マイナビレジデント主催オンライン病院説明会に参加

2024年度総括と課題・対策

- ・2年間の研修修了判定対象者1名（認定）。マッチング成立1名。
- ・1年目研修は3名で開始、うち2名は協力病院での開始となったため当院では1名のみとなり、また2年次研修医も2年目は協力病院での研修が多くなったため、院内で1年次研修医1名のみの期間が長期となった。
- ・見学者の誘致や病院紹介を積極的に行い、マッチング後の募集も通して複数採用を目指す。

## 臨床研修医を終えての感想

臨床研修医 守屋 航

木戸病院での臨床研修を終えるにあたり、この2年間で振り返って多くの学びと成長があったことを実感しています。研修医として、数々の診療科を回りながら、実際の臨床現場で得た知識や技術はもちろんのこと、患者さんやご家族との関わり方についても深く考える機会をいただきました。先輩医師や指導医の先生方からの温かい指導やサポートのおかげで、医師としての在り方を学び、成長することができました。

また、同じ研修医の仲間たちと共に困難を乗り越え、励まし合いながら研修に取り組んだ日々はかけがえのないものです。緊張や失敗も多々ありましたが、それぞれが貴重な経験となり、今後の糧になると感じています。

これからは、木戸病院で学んだことを基盤にし、さらに医師としての専門性を高めるとともに、患者さん一人ひとりに寄り添った医療を提供できるよう精進してまいります。指導して下さった先生方、支えて下さったスタッフの皆様に心から感謝を申し上げます。

## V. その他活動状況等

### 【1. 院内講演会】

1. 演 題：2024年度診療報酬改定について

講 師：医事課 後藤 玲奈

開催日：2024/4/25

### 【2. 院内研修会】

1. 個人情報保護法に関する研修会

演 題：個人情報保護法基礎研修・安全管理措置について

講 師：リコージャパン株式会社 杉山 正道

開催日：2024/5/16, 6/17, 19, 24, 27, 7/1, 2

2. 医療安全・感染管理研修会

演 題：①MMR V に対する職員履歴管理とワクチンプログラムの必要性について

②2023年度の総括～頑張った取り組みと課題～

講 師：①感染管理認定看護師 武田 惇

②各部署

開催日：2024/7/30, 31, 8/1, 2, 5

3. 医療安全研修会

演 題：①予期せぬ死亡事故の事故調から学んだこと

②医療における刑事責任（業務上過失責任）～油断は禁物～

講 師：①新潟大学名誉教授 内山 聖

②木戸病院顧問弁護士 山下 史生

開催日：2024/10/17

4. 医療安全・感染管理研修会

演 題：①手指衛生のタイミング適正化による手指消毒剤使用量増加への取り組み

②正しい薬の飲み方について

講 師：①感染管理認定看護師 武田 惇

②薬剤部 菊池 亜紀子, 荒木 滯

開催日：2024/11/5, 6, 8, 12, 14



5. 身体的拘束最小化の基準研修会

演 題：2024年診療報酬改定における「身体的拘束最小化」を理解する（オンライン研修）

講 師：公益社団法人 石川県看護協会会長

元金沢大学付属病院副院長・看護部長 小藤 幹恵

開催日：2025/1/21-23, 27-29

6. AST研修会

演 題：Clostridioides difficile感染症（CDI）の検査・治療について

講 師：①臨床検査技師 山崎 房子

②感染制御認定薬剤師 木島 浩子

開催日：2025/2/12, 13, 17, 18, 25

7. 医療ガス保安管理研修会

演 題：医療ガス事故事例について

講 師：(株)岡谷酸素 山田 和弥

開催日：2025/3/7, 14, 17, 26

### 【3. CPC】

1. 演 題：第14回 C P C 敗血症をくり返し死亡した関節リウマチ合併透析患者の一例

講 師：①新潟大学臨床病理学教室 杉野 英明

②新潟大学臨床病理学分野 大橋 瑠子

③研修医 守屋 航

④研修医 眞鍋 拓也

⑤内科部長 濱 ひとみ

開催日：2024/10/31

### 【4. 看護部研修会】

#### 【新人看護師研修会】

1. 演 題：看護部入職時研修会

対象者：新人看護師

開催日：2024/4

2. 演 題：トランスファー研修会

対象者：新人看護師

開催日：2024/4/30

3. 演 題：看護技術Ⅰ研修会

①輸液ポンプ・シリンジポンプ

②インスリン注射

対象者：新人看護師

開催日：2024/5/29

4. 演 題：3か月研修会

①急変時の対応

②メンタルヘルス研修

③3か月の振り返り

対象者：新人看護師

開催日：2024/6/18

5. 演 題：臨床判断モデル 気づきを考える

対象者：新人看護師

開催日：2024/7/30

6. 演 題：看護技術Ⅱ研修会 輸血療法

対象者：新人看護師

開催日：2024/8/22

7. 演 題：グリーフケアについて

対象者：新人看護師

開催日：2024/9/24

8. 演 題：6か月研修会

①医療安全管理について

②6か月の振り返り

③メンタルヘルス研修

対象者：新人看護師

開催日：2024/10/31

9. 演 題：日常ケアから考える看護倫理

対象者：新人看護師

開催日：2024/11/26

10. 演 題：感染管理研修会 職業感染とは

対象者：新人看護師

開催日：2024/12/16

11. 演 題：メンバーシップ研修会

対象者：新人看護師

開催日：2025/1/22

12. 演 題：12か月研修会

①ナラティブ

②12か月の振り返りと2年目の目標

対象者：新人看護師

開催日：2025/3/4

【看護助手研修会】

1. 演 題：入職時研修会

- ・医療制度の概要及び病院の機能と組織の理解
- ・医療チーム及び看護チームの一員としての看護補助者業務の理解
- ・看護補助業務を遂行するための基礎的な知識・技術
- ・日常生活に関わる業務
- ・守秘義務、個人情報の保護について
- ・医療安全と感染管理

対象者：看護助手

2. 演 題：看護補助者における感染管理

対象者：看護助手

開催日：2024/6

3. 演 題：看護補助者における安全管理

対象者：看護助手

開催日：2024/7

4. 演 題：日常ケアに関わる業務研修会

対象者：看護助手

開催日：2024/9

5. 演 題：接遇と看護倫理

対象者：看護助手

開催日：2025/3

【看護師研修会】

1. 演 題：看護倫理（前期）研修会  
対象者：看護職員  
開催日：2024/6/15
2. 演 題：グリーフケア  
対象者：看護職員  
開催日：2024/7/8
3. 演 題：高齢者の尊厳を考える  
対象者：看護職員  
開催日：2024/7/23
4. 演 題：2年次事例発表会説明会  
対象者：看護職員  
開催日：2024/8/8
5. 演 題：いのちの章典（後期）  
対象者：看護職員  
開催日：2024/8/29
6. 演 題：タイムマネジメント  
対象者：看護職員  
開催日：2024/9/19
7. 演 題：実地指導責任者研修  
対象者：看護職員  
開催日：2024/10/10
8. 演 題：院内静脈注射研修会（受講必須研修会）  
対象者：看護職員  
開催日：2024/10/23-25, 30
9. 演 題：リーダーシップ研修会  
対象者：看護職員  
開催日：2024/11/12

10. 演 題：院内認知症研修（受講必須研修会）

対象者：看護職員

開催日：2024/11/18, 21, 22, 27-29

11. 演 題：ICLS 急変時の対応

対象者：看護職員

開催日：2024/12/5

12. 演 題：メンタルヘルス（中堅）

対象者：看護職員

開催日：2024/12/13

13. 演 題：卒後3年次看護師伝達講習

対象者：看護職員

開催日：2025/1/16

14. 演 題：カンファレンスの進め方

対象者：看護職員

開催日：2025/3/6

15. 演 題：実地指導者研修

対象者：看護職員

開催日：2025/3/14

16. 演 題：チューター研修

対象者：看護職員

開催日：2025/3/14

17. 演 題：卒後2年次事例検討

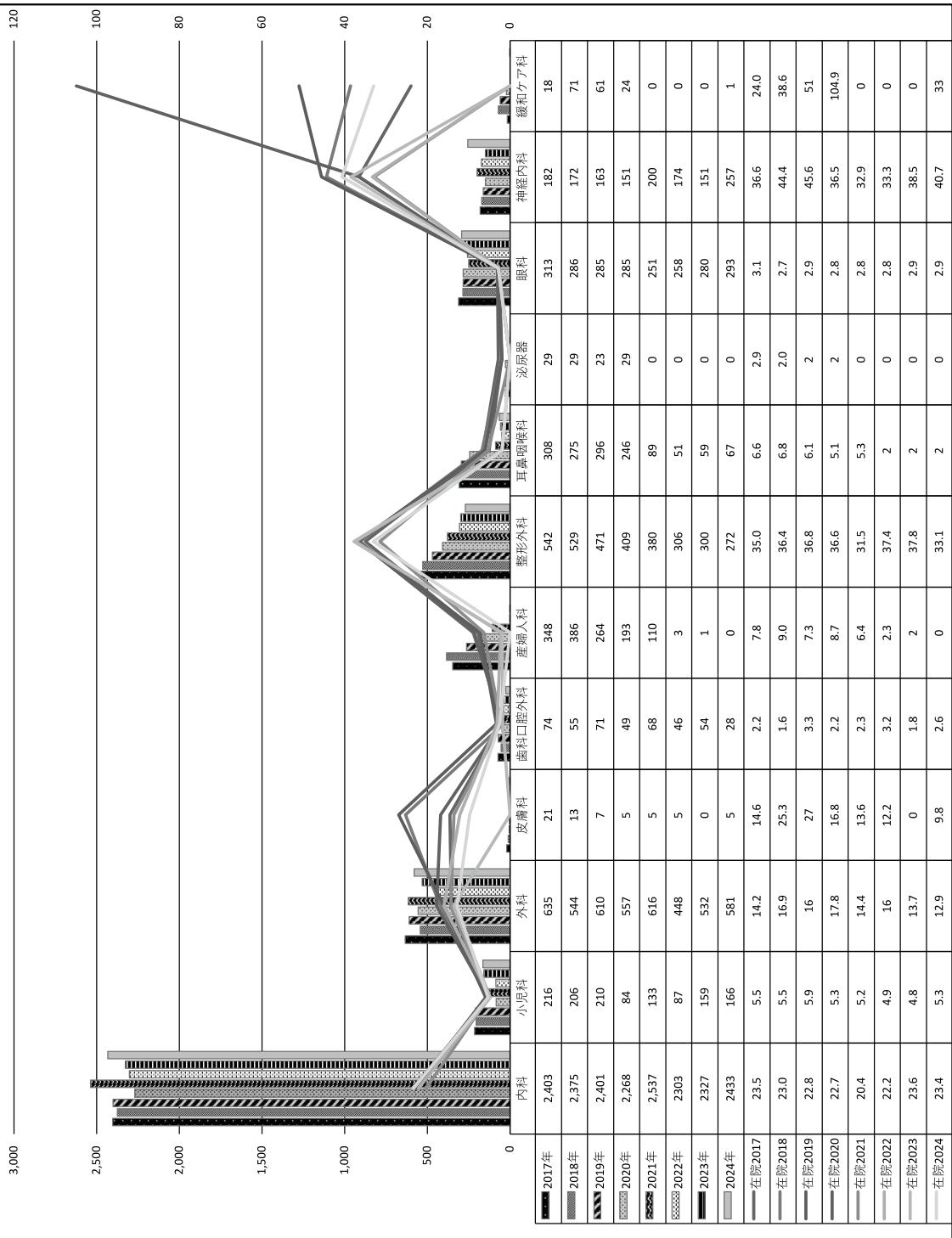
対象者：看護職員

開催日：2025/4/26



# 退院患者疾病統計表 (2024年)

科別・年別退院患者数・平均在院日数





1.<死亡> 科別・月別・性別 退院患者数

入院科	性別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
内科	男性	11	8	6	13	4	13	19	12	14	11	10	10	131
	女性	16	7	10	12	6	10	5	4	4	5	5	14	98
外科	男性	1	1	0	5	3	0	1	0	0	4	2	2	19
	女性	1	1	0	4	1	1	2	0	1	1	0	0	12
整外	男性	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	女性	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
神内	男性	1	1	1	0	3	1	0	1	0	0	0	2	10
	女性	0	0	0	0	1	0	0	3	0	1	0	1	6
緩和ケア	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
総計		30	18	18	35	18	25	27	21	19	22	17	30	280

2. <死亡>大分類別退院患者数

大分類別	内科	外科	整外	神内	緩和ケア	総計
I. 感染症および寄生虫症	8	0	0	2	0	10
II. 新生物	61	24	0	0	1	86
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3	0	0	0	0	3
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	8	0	0	0	0	8
VI. 神経系の疾患	0	0	0	5	0	5
IX. 循環器系の疾患	37	0	0	3	0	40
X. 呼吸器系の疾患	61	0	0	3	0	64
XI. 消化器系の疾患	14	4	0	1	0	19
XII. 皮膚及び皮下組織の疾患	0	1	0	0	0	1
XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患	2	1	0	0	0	3
XIV. 泌尿路生殖器系の疾患	16	0	0	1	0	17
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	14	1	1	1	0	17
XX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	2	0	2	0	0	4
XXII. 特殊目的用コード	3	0	0	0	0	3
総計	229	31	3	16	1	280

3. 中分類別退院患者数

中分類	内科	小児	外科	皮膚	歯口	整外	耳鼻	眼科	神内	緩和ケア	総計
腸管感染症(A00-A09)	47	2	7	0	0	0	0	0	1	0	57
結核(A15-A19)	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
その他の細菌性疾患(A30-A49)	17	1	0	1	0	1	0	0	3	0	23
中枢神経系のウイルス感染症(A80-A89)	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症(B00-B09)	1	5	0	0	0	0	0	0	3	0	9
その他のウイルス性疾患(B25-B34)	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	6
真菌症(B35-B49)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
原虫疾患(B50-B64)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
口腔、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>(C00-C14)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
消化器の悪性新生物<腫瘍>(C15-C26)	223	0	262	0	0	0	0	0	2	0	487
呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍>(C30-C39)	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
乳房の悪性新生物<腫瘍>(C50)	0	0	40	0	0	0	0	0	0	0	41
部位不明腫瘍、結発部位及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>(C76-C80)	12	0	12	0	0	0	0	0	1	0	25
リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>、原発と記載された又は推定されたもの(C81-C96)	9	0	3	0	0	0	0	0	0	0	12
良性新生物<腫瘍>(D10-D36)	141	0	6	0	0	0	0	0	0	0	147
性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>(D37-D48)	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6
栄養性貧血(D50-D53)	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
無形成性貧血及びその他の貧血(D60-D64)	11	0	1	0	0	0	0	0	1	0	13
凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態(D65-D69)	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4
血液及び造血器のその他の疾患(D70-D77)	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
甲状腺障害(E00-E07)	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
糖尿病(E10-E14)	91	0	0	0	0	0	0	0	0	0	91
その他のグルコース調節及び内分泌障害(E15-E18)	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8
その他の内分泌障害(E20-E35)	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
栄養失調(症)(E40-E46)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
肥満(症)及びその他の過栄養<過剰摂取>(E65-E68)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
代謝障害(E70-E90)	48	2	1	0	0	1	0	0	6	0	58
症状性を含む器質性精神障害(F00-F09)	12	0	0	0	0	0	0	0	4	0	16
精神作用物質使用による精神及び行動の障害(F10-F19)	7	0	0	0	0	0	0	0	2	0	9
気分感情障害(F30-F39)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害(F40-F48)	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	6
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群(F50-F59)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
主に中枢神経系を障害する系統萎縮症(G10-G14)	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
離体路障害及び異常運動(G20-G26)	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	22
神経系その他の変性疾患(G30-G32)	4	0	0	0	0	0	0	0	9	0	13
中枢神経系の脱髄疾患(G35-G37)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
神経根及び発作性障害(G40-G47)	3	8	0	0	0	0	67	0	8	0	86
神経、神経根及び神経そう<養>の障害(G50-G59)	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	4
多発(性)ニューロパチ<シ>ー及びその他の末梢神経系の障害(G60-G64)	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	4
神経筋接合部及び筋の疾患(G70-G73)	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	5
脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群(G80-G83)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
神経系その他の障害(G90-G99)	6	0	0	0	0	1	0	0	11	0	18
中枢神経系の炎症性疾患(G00-G99)	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4
水晶体の障害(H25-H28)	0	0	0	0	0	0	0	293	0	0	293
中耳及び乳様突起の疾患(H65-H76)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
内耳疾患(H80-H83)	16	0	0	0	0	0	0	0	7	0	23
高血圧疾患(I10-I15)	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
虚血性心疾患(I20-I25)	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0	88
肺性心疾患及び肺循環疾患(I26-I28)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他の型の心疾患(I30-I52)	225	0	1	0	0	0	0	0	1	0	227
脳血管疾患(I60-I69)	14	0	0	0	0	0	0	0	54	0	68
動脈、細動脈及び毛細血管の疾患(I70-I79)	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22
静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの(I80-I89)	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13



腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷 (S30-S39)	7	0	1	0	0	0	47	0	0	1	0	0	56
肩及び上腕の損傷 (S40-S49)	0	0	0	0	0	0	8	0	0	2	0	0	10
肘及び前腕の損傷 (S50-S59)	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5
股関節部及び大腿の損傷 (S70-S79)	10	0	0	0	0	0	64	0	0	0	0	0	74
膝及び下腿の損傷 (S80-S89)	0	0	0	0	0	0	23	0	0	1	0	0	24
多部位の損傷 (T00-T07)	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
部位不明もしくは(四)肢の損傷又は部位不明の損傷 (T08-T14)	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
自然開口部からの異物侵入の作用 (T15-T19)	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
体表面の熱傷及び腐食、明示された部位 (T20-T25)	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
薬物、薬利及び生物学的製剤による中毒 (T36-T50)	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5
外因のその他及び詳細不明の作用 (T66-T78)	9	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	14
外科的及び内科的ケアの合併症、他に分類されないもの (T80-T88)	38	0	8	0	0	0	5	0	0	0	0	0	51
損傷、中毒及びその他の外因による影響の続発・後遺症 (T90-T98)	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
原因不明の新たな疾患又はエマージェンシーコードの暫定分類 (U00-U49)	102	3	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	119
総計	2433	166	581	5	28	67	272	293	257	1	0	0	4103

4. 小分類別退院患者数

小分類	内科	小児	外科	皮膚	歯口	整外	耳鼻	眼科	神内	緩和ケア	総計
A045 カンピロバクター腸炎	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
A047 クロストリジウム・ディフィシルによる腸炎	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
A049 細菌性腸管感染症 詳細不明	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
A081 ノーウォーク様ウイルスによる急性胃腸症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
A082 アデノウイルス性腸炎	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
A090 感染症が原因のその他及び詳細不明の胃腸炎及び大腸炎	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
A099 詳細不明の原因による胃腸炎及び大腸炎	35	1	7	0	0	0	0	0	1	1	44
A162 肺結核、細菌学的又は組織学的確認の記載がないもの	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
A163 結核性胸膜炎、細菌学的又は組織学的記載がないもの	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
A199 粟粒結核 詳細不明	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
A410 黄色ブドウ球菌による敗血症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
A415 その他のグラム陰性菌による敗血症	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
A419 敗血症 詳細不明	7	0	0	0	0	0	0	0	2	0	9
A430 肺カンジア症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
A46 丹毒	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
A493 マイコプラズマ感染症 部位不明	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
A499 細菌感染症 詳細不明	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	6
A810 クロイツフェルト・ヤコブ＜Creutzfeldt-Jakob＞病	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
B002 ヘルペスウイルス(性) 歯肉口内炎及び咽頭扁桃炎	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
B029 帯状疱疹 合併症を伴わないもの	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
B082 発疹性麻疹[第6病]	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
B084 発疹を伴うエンテロウイルス性小水疱性口内炎	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
B279 伝染性単核症 詳細不明	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
B340 アデノウイルス感染症 部位不明	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
B348 部位不明のその他のウイルス感染症	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
B349 ウイルス感染症 詳細不明	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
B441 その他の肺炎アスペルギルス症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
B59 ニューモシステス症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
C080 その他及び部位不明の大唾液腺の悪性新生物＜腫瘍＞、顎下腺	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
C151 食道の悪性新生物＜腫瘍＞、胸部 食道	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
C158 食道の悪性新生物＜腫瘍＞、食道の遠近部病巣	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
C159 食道の悪性新生物＜腫瘍＞、食道、部位不明	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
C160 胃の悪性新生物＜腫瘍＞、噴門	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
C161 胃の悪性新生物＜腫瘍＞、胃底部	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	5
C162 胃の悪性新生物＜腫瘍＞、胃体部	23	0	12	0	0	0	0	0	0	0	35
C163 胃の悪性新生物＜腫瘍＞、幽門前庭	20	0	13	0	0	0	0	0	0	0	33
C164 胃の悪性新生物＜腫瘍＞、幽門	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
C169 胃の悪性新生物＜腫瘍＞、胃、部位不明	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
C172 小腸の悪性新生物＜腫瘍＞、回腸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C179 小腸の悪性新生物＜腫瘍＞、小腸、部位不明	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
C180 結腸の悪性新生物＜腫瘍＞、盲腸	3	0	5	0	0	0	0	0	0	0	8
C181 結腸の悪性新生物＜腫瘍＞、虫垂	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
C182 結腸の悪性新生物＜腫瘍＞、上行結腸	20	0	34	0	0	0	0	0	0	0	54
C184 結腸の悪性新生物＜腫瘍＞、横行結腸	14	0	29	0	0	0	0	0	1	0	44
C186 結腸の悪性新生物＜腫瘍＞、下行結腸	4	0	10	0	0	0	0	0	0	0	14
C187 結腸の悪性新生物＜腫瘍＞、S状結腸	23	0	55	0	0	0	0	0	0	0	78
C189 結腸の悪性新生物＜腫瘍＞、結腸、部位不明	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
C19 直腸S状結腸移行部の悪性新生物＜腫瘍＞	7	0	15	0	0	0	0	0	0	0	22
C20 直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	16	0	54	0	0	0	0	0	1	0	71
C220 肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞、肝細胞癌	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
C221 肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞、肝内胆管癌	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
C23 胆のうく＜癌＞の悪性新生物＜腫瘍＞	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
C240 その他及び部位不明の胆道の悪性新生物＜腫瘍＞、肝外胆管	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
C250 膵の悪性新生物＜腫瘍＞、膵頭部	20	0	5	0	0	0	0	0	0	0	25
C251 膵の悪性新生物＜腫瘍＞、膵体部	7	0	3	0	0	0	0	0	0	0	10
C252 膵の悪性新生物＜腫瘍＞、膵尾部	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	9
C253 膵の悪性新生物＜腫瘍＞、膵管	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
C258 膵の悪性新生物＜腫瘍＞、膵の境界部病巣	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
C259 膵の悪性新生物＜腫瘍＞、膵、部位不明	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
C340 気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞、主気管支	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

























## 表紙題字

### 佐野誠一

「住民の意向を反映させた住民主体の医療と福祉の地域づくり」を念頭に、1975年1,357名の組合員と新潟医療生活創立総会を開催。

翌1976年5月6日88床で木戸病院を開院。初代理事長に就任。

2003年「消費生活協同組合等に対する厚生労働大臣表彰」を受ける。

2005年長年の社会活動が認められ高齢者叙勲で「旭日双光賞」を受賞。

2011年6月理事長退任。

---

## 編集委員

河井一浩	渡辺綾子	黒井弥生	小山内彩乃
平島麻由美	沢田紀子	渡辺実花	伊藤眞梨子

# 木戸病院医誌      2025   VOL. 24

令和7年10月

## 新潟医療生活協同組合

木 戸 病 院    TEL 025-273-2151

石 山 診 療 所    TEL 025-276-5111

健 診 セ ン タ ー    TEL 025-270-1831

木戸クリニック    TEL 025-274-7960

〒950-0862   新潟県新潟市東区竹尾4丁目13番3号